

平成 23 年度

# 事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

I. 学校法人森ノ宮医療学園 平成 23 年度事業報告書.....	1
II. 森ノ宮医療学園専門学校 平成 23 年度事業報告書.....	10
III. 森ノ宮医療大学 平成 23 年度事業報告書 .....	31
IV. 学校法人森ノ宮医療学園附属診療所 平成 23 年度事業報告書.....	83
V. 学校法人森ノ宮医療学園出版部 平成 23 年度事業報告書.....	85

学校法人森ノ宮医療学園

大阪市東成区中本 4 丁目 1 番 8 号

# I. 森ノ宮医療学園

## 1. 学園の経営課題に対する取り組み

平成 23 年度、森ノ宮医療学園専門学校においては、夜間部志願者の減少に対応すべく、鍼灸学科の入学定員を昼間部 120 人（午前コース 30 人含む）、夜間部 60 人に変更し、さらに医療資格者コースの教育課程を変更することにより、午前コース、昼間部、夜間部の効率的なクラス編成を実施した。柔道整復学科ではアドバンスコースの募集活動に注力し、志願者数の回復傾向が得られた。

学費については、平成 23 年度からの入学生に対し、特に夜間部学生への修学支援を重点とし、専門学校全体で、10.4%（加重平均）の学費改定（値下げ）を実施した。

また、専門学校の学生及び教職員支援のため、外部事業者とコラボレーションして学園内保育施設の開設準備等を推進した。

森ノ宮医療大学においては、大学院保健医療学研究科保健医療学専攻と保健医療学部看護学科を開設し、新たな学生を受入れ大学の質的充実に努めた。

さらに、大学鍼灸学科の十分な志願者確保と、卒後進路の拡充を目指し、中学校・高等学校の保健体育教員免許取得が可能な教職課程（スポーツ特修コース）の認定申請を行い、平成 24 年度入学生から新カリキュラムが実施できるよう準備した。

これら、新学科等の開設に伴い、大学看護学科では、開設初年度として 16 名の教員を、鍼灸学科スポーツ特修コースでは、設置準備のため実績豊富な学長経験者を雇用した。

大学院においては、年額 40 万円の給付型奨学金を創設し、他大学との学費格差の是正に努めた。

学生募集状況は、専門学校においては、延べ 17 回にわたるオープンスクールを実施し、398 名の参加人員を得た。大学においても、7 回の学内オープンキャンパスと学外説明会を実施し、1,391 名の参加を得た。その結果、専門学校において、24 年度の入学予定者を 330 名確保した。これは専門学校開校以来最も多い入学者数である。大学においては 215 名の学部入学生を確保し、大学院は 1 名の入学生となった。

国家試験合格率は、専門学校においては、はり師きゅう師が全国平均それぞれ 72.8%、70.0% 中、新卒者で 85.9%、84.4%既卒者 69.9%、68.7%、また柔道整復師国家試験では、全国平均 77.4%の中、新卒者 97.4%、全体で 75.4%であった。

大学においては、第 2 期生を中心とした受験であったが、合格率は、鍼灸学科において、はり師 83.6%、きゅう師 77.0%（新卒のみ、既卒者を含めた全体ではそれぞれ 81.5%、73.8% 全国平均 72.8%、70.0%）、理学療法学科では全国的に国試合格率が大学においては 91.9%となっている中で、本学は新卒者 72.9%、既卒者 94.1%、全体で 77.6%と昨年度よりは若干上回ったものの、厳しい状況に終わった。

## 2. 平成23年度の主な事業活動

1. 森ノ宮医療大学 保健医療学部看護学科 開設記念講演「看護の本質とこれからの看護」  
薄井坦子氏（元宮崎県立大学学長）（平成23年6月2日 本学西棟6階）なお、この講演録をもとに冊子「生きているとは・・・看護の本質とこれからの看護」を森ノ宮医療学園出版部にて制作刊行した。（平成24年2月）
2. 森ノ宮医療大学 日本看護系大学協議会加盟（平成23年6月20日）
3. 森ノ宮医療大学 提携先の千里中央病院において週2回の病棟鍼灸治療を開始した。  
（平成23年8月1日から）
4. 森ノ宮医療大学、大阪府立急性期総合医療センター、相愛大学3者連携による共同シンポジウム「生と死を今、考えるⅡーやすらぎのがん医療ー」開催実施（平成23年11月5日  
場所：大阪府立急性期総合医療センター）本学からは坂出教授、山下教授が講演した。
5. 森ノ宮医療大学 看護学科を主体として地域連携子育て支援「もりもりクラブ」開催実施  
（平成23年12月）
6. 森ノ宮医療大学鍼灸学科に教職課程を設けるため、文科省初等中等教育局教職員課に認可申請を行い中央教育審議会の答申を受け「中学校1種免許状（保健体育）、高等学校1種教員免許状（保健体育）が得られる課程申請が認可された。（平成24年2月15日）
7. 森ノ宮医療大学看護学科を卒業し、保健師となったもので所定の単位を取得したものは、大阪府教育委員会に申請することで「養護教諭2種免許状」の取得が可能となった。

## 3. 森ノ宮医療学園の沿革

昭和48年（1973）	3月	厚生省より鍼灸師養成施設の認可を受ける
	4月	大阪鍼灸専門学校開校
昭和52年（1977）	4月	学校法人「森ノ宮学園」となり、あわせて専修学校医療専門課程となる
昭和57年（1982）	4月	附属診療所、附属鍼灸施術所落成
昭和60年（1985）	4月	卒後教育雑誌「鍼灸 OSAKA」創刊
昭和63年（1988）	5月	鍼灸師養成に関わる法律により修業年限3年となる
	11月	中国、大連市中医医院と学術研究提携を結ぶ
平成3年（1991）	7月	米国、Santa Barbara College of Oriental Medicine と教育提携を結ぶ
平成4年（1992）	7月	中国、南京中医薬大学と学術研究提携を結ぶ
平成7年（1995）	3月	この年の卒業生から文部省告示による専門士（医療専門課程）の称号を授与
平成8年（1996）	6月	中国江蘇省陰市中医医院と交流開始
平成12年（2000）	4月	柔道整復学科開設、法人名を学校法人森ノ宮医療学園、 学校名を森ノ宮医療学園専門学校と改称
平成13年（2001）	1月	本校舎増改築工事完成 はりきゅうミュージアム開設
平成14年（2002）	1月	はりきゅうミュージアムにて代田文誌特別展開催
	4月	緑橋校舎増設
平成15年（2003）	3月	柔道整復学科第1期生卒業 創立30周年記念式典 校歌「みどりの風」制定
	4月	全日制アドバンスコース開講
	7月	アネックス校舎（第1期）完成
平成16年（2004）	3月	中国江蘇省江陰市中医医院と学術・教育協定締結

平成17年(2005)	2月	医療法人淳良会関目病院と教育提携を結ぶ
平成19年(2007)	4月	森ノ宮医療大学開学
平成20年(2008)	2月	第1回おおさか優良緑化賞・大阪府知事賞受賞
	11月	森ノ宮医療大学コスモキャンパス第2校地取得
平成21年(2009)	4月	森ノ宮医療大学AMRI医療センター(アムリクリニック、アムリ鍼灸院)開院
平成22年(2010)	1月	森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック、みどりの風鍼灸院開院
	3月	森ノ宮医療学園アネックス校舎完成
	6月	森ノ宮医療大学メディカフェオープン
平成23年(2011)	4月	森ノ宮医療大学看護学科設置
		森ノ宮医療大学大学院修士課程保健医療学研究科設置
平成24年(2012)	2月	森ノ宮医療大学鍼灸学科スポーツ特修コース設置認可

#### 4. 森ノ宮医療学園の概要 (平成23年4月1日現在)

##### 1. 設置する学校

法人の名称		学校法人森ノ宮医療学園		事務所の所在地		大阪府大阪市東成区 中本4丁目1番8号		
設置する学校	学校名	学部・学科名等	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	
	森ノ宮医療大学	大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)		2	6	0	12	開設年度 平成23年
		保健医療学部鍼灸学科		4	60	0	240	開設年度 平成19年
		保健医療学部理学療法学科		4	60	0	240	
		保健医療学部看護学科		4	80	0	320	開設年度 平成23年
	森ノ宮医療学園専門学校	医療専門課程 鍼灸学科		3	180	0	540	開設年度 昭和48年
医療専門課程 柔道整復学科			3	180	0	540	開設年度 平成12年	

## 2. 役員の氏名

役員	氏名	役員就任	寄附行為上の選任区分	備考
理事長	森 俊豪	平成9年5月	7-1-2	
副理事長	清水尚道	平成22年11月	7-1-3	
理事	安雲和四郎	平成9年5月	7-1-1	森ノ宮医療学園専門学校校長
理事	荻原俊男	平成23年4月	7-1-1	森ノ医療大学学長
理事	安田実	平成11年5月	7-1-3	
理事	三木完二	平成9年5月	7-1-2	
理事	下條喜信	平成11年5月	7-1-2	
理事	花谷幸比古	平成9年5月	7-1-2	
理事	中田敬吾	平成14年5月	7-1-3	
監事	日根野文三	平成11年5月		
監事	小林由幸	平成14年10月		

## 3. 校地・校舎の概要

学校名 (所在地)	校地現有面積	校舎現有面積	備考
森ノ宮医療大学・ 大学院 (大阪市住之江区南港北 1丁目3番1号)	m <sup>2</sup>  15,995.24	m <sup>2</sup>  7,209.83 (東校舎)	学生食堂は平成22年6月完成。(676.67 m <sup>2</sup> ) 西(看護学棟)校舎は平成23年3月完成。(4,566.38 m <sup>2</sup> ) なお、校舎面積 7,209.83 m <sup>2</sup> は大学設置認可申請書の「基本計画書」の校舎面積に加えて基準外の体育館面積433.50 m <sup>2</sup> を含む。
		676.67 (学生食堂)	
		4,566.38 (西[看護学棟]校舎)	
森ノ宮医療大学 (大阪市東成区中本2丁目5番41号)	1,329.40	198.76 (森ノ宮校舎)	(森ノ宮校舎)
森ノ宮医療大学 計	17,324.64	12,651.64	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本4丁目1番8号)	1,560.22	5,253.67 (本校舎)	アネックス校舎
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本3丁目15番11号)	530.56	936.74 (緑橋校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 計	2,090.78	7,445.84	
(大学+専門学校) 合計	19,415.42	20,097.48	

## 5. 法人全体の決算概要

### ●正味資産の推移

(単位：円)

	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
正味資産 (総資産－負債)	10,566,142,850	9,985,113,494	9,493,711,390	8,972,215,386	7,920,122,837
資産増加額	581,029,356	491,402,104	521,496,004	1,052,092,549	646,423,197

### ●平成23年度決算概要

(単位：円)

No.		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	説明
1	帰属収入	2,637,110,025	2,462,253,774	2,267,298,934	2,594,415,954	消費収支(単年度) の収入合計
2	消費支出	2,056,080,669	1,970,851,670	1,745,802,930	1,542,323,405	消費収支(単年度) の支出合計
3	収入超過	581,029,356	491,402,104	521,496,004	1,052,092,549	1-2
4	基本金組入	△ 132,386,708	△ 1,309,217,641	△ 477,914,987	△ 2,031,226,651	将来存続に向けての 最低限の設備など蓄え
5	差引収入超過	448,642,648	△ 817,815,537	43,581,017	△ 979,134,102	3+4
6	前年度繰越収入超過額	△ 264,864,051	503,797,148	460,216,131	1,439,350,233	差引収入超過額の 累計額(支出超過は△)
7	基本金取崩	0	49,154,338	0	0	
8	翌年度繰越収入超過額	183,778,597	△ 264,864,054	503,797,148	460,216,131	5+6+7

(岩崎 光治)

## 6. 森ノ宮医療学園の加盟団体一覧

加盟団体一覧		主幹部署	備考
1	日本私立大学協会	大)総務室	学校関係
2	日本私立大学協会関西支部	大)総務室	
3	全国専修学校各種学校総連合会	専)事務局	
4	大阪府私立大学協会	大)総務室	
5	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	専)事務局	
6	日本アロマコーディネーター協会	専)事務局	
7	NPO法人学校経理研究会	法)財務室	
8	社団法人東洋療法学校協会	専)鍼灸学科	鍼灸関係
9	全日本鍼灸学会	大)・専)鍼灸学科	
10	一般社団法人 日本リハビリテーション学校協会	大)理学療法学科	理学療法関係
11	一般社団法人 日本リハビリテーション学校協会近畿ブロック協議会	大)理学療法学科	
12	日本私立看護系大学協議会	大)看護学科	看護関係
13	一般社団法人 日本看護系大学協議会	大)看護学科	
14	公益社団法人 全国助産師教育協議会	大)看護学科	
15	一般社団法人 全国保健師教育機関協議会	大)看護学科	
16	社団法人全国柔道整復学校協会	専)柔道整復学科	柔道整復関係
17	日本柔道整復接骨医学会	専)柔道整復学科	
18	私立大学図書館協会	大)図書館	図書館関係
19	日本看護図書館協会	大)図書館	
20	社団法人日本医師会	附属診療所	診療所関係
21	社団法人大阪府医師会	附属診療所	
22	社団法人東成区医師会	附属診療所	
23	大阪商工会議所	法)企画室	経済団体
24	関西プレスクラブ	法)企画室	広報関係
25	コスモスクエア地区開発協議会	法)企画室	地域団体
26	東成区防犯協会	専)事務局	
27	東成区第1町会	専)事務局	
28	社団法人大阪市防火管理協会	専)事務局	
29	東成防火協力会	専)事務局	
30	中本連合中本第一町会	専)事務局	

(井上 洋子)

## 7. 職員数について

### ●職員数(専門学校)

平成23年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	33	67	100
職員	26	1	27
診療所職員	16	0	16
合計	75	68	143

### ●職員数(大学)

平成23年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	57	89	146
職員	20	5	25
合計	77	94	171

(田畑 京美)



## 8. 専門学校および大学のシステム情報系について

### 1. 学生用パソコンについて

#### ① 専門学校

H23 年度 3 階学生ホールにインターネット閲覧用パソコンを 3 台追加設置した。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	2 階 3 階	7 台
学内貸し出し用	教職員室	4 台
図書館蔵書検索用	図書館	2 台
求人検索用	2 階受付前	2 台
講義用 (H22 年度導入)	106 教室	35 台

#### ② 大学

H23 年度学生相談室にパソコン 2 を台追加設置した。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧、レポート作成	閲覧室	35 台
学生貸し出し用	図書館	8 台
図書館蔵書検索用	図書館	2 台
講義用	401 教室	75 台
求人検索用	学生相談室	2 台

### 2. 学生用無線 LAN アクセスポイントについて

学生対象に登録制にて無線アクセスポイントを解放している。

#### ① 専門学校

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	3 階学生ホール	1 台

#### ② 大学

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	キャナルホール	1 台

(柘植 浩)

## 9. 大学の広報活動報告

○ 森ノ宮医療大学

2011（平成23）年度・2010（平成22）年度 入学試験 選考結果  
学部・学科別志願者数・受験者数・受験者数・合格者数・競争率

学科	年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
鍼灸学科	2012（平成24）	60	116	112	90	1.24
	2011（平成23）	60	104	100	89	1.12
理学療法学科	2012（平成24）	60	304	297	77	3.85
	2011（平成23）	60	429	421	76	5.54
看護学科	2012（平成24）	80	505	491	114	4.30
	2011（平成23）	80	456	441	102	4.32
合 計	2012（平成24）	200	925	900	281	3.20
	2011（平成23）	200	989	962	267	3.60

（石塚 充弘）

## Ⅱ. 森ノ宮医療学園専門学校の業務報告

### 1. 実施行事の報告

月	日	曜日	行事
4月	2	土	卒後講習会
	4	月	教職員セキュリティ対策セミナー、理事会（大学にて）
	5	火	平成23年度入学式(アネックス校舎)
	6	水	新入生オリエンテーション
	7	木	新入生オリエンテーション
	8	金	前期授業開始(鍼灸学科・柔道整復学科)
	9	土	森ノ宮柔道整復研究会
	10	日	合同チャリティ(アネックス校舎)
	13	水	奨学金申込説明会
	16	土	ビジネストレーニングアカデミー
17	日	光栄、東洋はり医学会、関西漢方菴徳塾、ビジネストレーニングアカデミー、美顔鍼灸	
20	水	霊柩を読む会	
23	土	古典研究会、アロマ講座	
24	日	手技を考える会、中華伝承医学、医鍼会、森ノ宮手技療法研究会、ライフステージ鍼灸の安全を考える会、鍼灸技術研究会	
27	水	霊柩を読む会	
5月	2	月	創立記念日(3/1)の代休
	7	土	アロマ講座、スポーツ医学研究会
	8	日	ひよこ育成会、日本鍼灸師会
	11	水	霊柩を読む会
	14	土	森ノ宮柔道整復研究会、アロマ講座
	15	日	森ノ宮柔道整復研究会、東洋はり医学会、医鍼会、日本臨床鍼灸懇話会
	18	水	霊柩を読む会
	21	土	古典研究会、こどもの健康サークル、アロマ講座
	22	日	第1回オープンキャンパス、入試(AO・社・推・医)、関西漢方菴徳塾 森ノ宮手技療法研究会、医鍼会
	23	月	「9000本の鍼」上映
24	火	職員・学生研修性犯罪防止セミナー（東成警察署）	
25	水	霊柩を読む会、校友会役員会	
26	木	学園会計監査	
27	金	理事会・評議員会（専門学校にて）	
28	土	アロマ講座、体育実習(鍼灸学科1年)	
29	日	体育実習(鍼灸学科1年)、手技を考える会、国際中医美容研究会 「9000本の鍼」上映、中華伝承医学、婦人科疾患の鍼灸治療	
6月	3	金	興国高校3年生学校見学会
	4	土	アロマ講座、日本コアコンディショニング協会、森ノ宮柔道整復研究会
	5	日	第2回オープンキャンパス、入試(AO・社・推・医)、校友会代議委員会、校友会学術講習会
	8	水	霊柩を読む会
	9	木	解剖実習見学(柔道整復学科3年昼・夜)(大阪大学歯学部にて)
	10	金	市立松原中学職業体験会
	11	土	アロマ講座、パソコンゼミ特別講座、スポーツ医学研究会
	12	日	ひよこ育成会、日本刺絡学会講習会、日本臨床鍼灸懇話会
	15	水	日本学生支援機構奨学金説明会、霊柩を読む会
	16	木	解剖実習見学(鍼灸学科2年昼・夜)(大阪大学歯学部にて)
18	土	古典研究会、アロマ講座	
19	日	第3回オープンキャンパス、入試(AO・社・推・医・指定校)、東洋はり医学会 医鍼会、鍼灸勉強会、良導絡クラブ、アメリカ研修(～7/1)(柔道整復学科2年アド)	
22	水	解剖実習見学(鍼灸学科3年昼・夜)(大阪大学歯学部にて)、霊柩を読む会	
23	木	中医学	
24	金	学内推薦入試説明会(～25日)	
25	土	解剖実習見学(鍼灸学科2・3年医・校友会)(大阪大学歯学部にて) 大阪成蹊女子高校みどりの風クリニック・鍼灸室見学会	
26	日	関西漢方菴徳塾、手技を考える会、新日本医師協会、中華伝承医学会	

			国際中医美容研究会、医鍼会、森研、鍼灸勉強会、東洋医学勉強会
7月	30	木	解剖実習見学(柔道整復学科2年昼・夜)(大阪大学歯学部にて)
	3	日	森ノ宮手技療法研究会、日本臨床鍼灸懇話会
	4	月	前期試験(鍼灸学科)(~8日)
	10	日	第4回オープンキャンパス、入試(A0・社・推・医)、ひよこ育成会
	11	月	日本刺絡学会講習会、保健医療科学研究所 サマースクール(~15日)、前期試験(柔道整復学科)(~16日)
	12	火	大阪成蹊女子高校1年生職業体験会
	13	水	京都明徳高校1年生職業体験会
	17	日	古典鍼灸勉強会
	18	月	東洋はり医学会、医鍼会、中華伝承医学会
	19	火	神戸鍼灸技研究会
	21	木	学内推薦入試(~22日)、前期追試験・補講(鍼灸学科)(~29日)
	22	金	福泉高校2年職業体験会、スポーツトレーナー講座
	23	土	スポーツトレーナー講座、理事会(大学にて)
	24	日	解剖実習見学(柔道整復学科2・3年アド)(大阪大学歯学部)、アロマ講座
	25	月	第5回オープンキャンパス、入試(A0・社・推・医)、関西漢方苞徳塾
	26	火	こどもの健康サークル、医鍼会、ライフステージ、美顔鍼会
	27	水	前期追試験(柔道整復学科)(~29日)
	30	土	奨学金交付会
	31	日	鍼灸夏期臨床実習(~6日)
8月	3	水	スポーツ医学研究会
	4	木	手技を考える会、国際中医美容研究会、運動器疾患柔道整復学研究会
	6	土	良導絡ゼミ、経穴クラブ
	7	日	古典鍼灸勉強会
	8	月	東洋療法学校協会教員研修会(~5日)
	9	火	職員会議(鍼灸学科)、美容鍼灸、一般公開講座
	11	木	第6回オープンキャンパス、入試(A0・社・推・医)、大師バリ講演
	12	金	古典鍼灸勉強会
	14	日	職員会議(柔道整復学科)
	17	水	柔道大会(東京)、運動器疾患柔道整復学研究会(~28日)
	18	木	夏期休暇(~16日)
	20	土	日本刺絡学会講習会
	21	日	経絡クラブ
	22	月	中国臨床研修ツアー(25日)
	23	火	日本コアコンディショニング協会
	25	木	第7回オープンキャンパス、入試(A0・社・推・医・ナイター)
	27	土	日本コアコンディショニング協会、手技を考える会、医鍼会、森研、経絡クラブ
	28	日	未修得単位試験(柔道整復学科)、地域会議(中本地区連合会、東成医師会、東成区役所)
	29	月	大阪府教員対象セミナー(~25日)
	31	水	全国柔道整復学校協会教員研修会・高松(柔道整復学科)(~26日)
9月	1	木	オリент出版夏期研修会(~29日)、古典研究会、日本コアコンディショニング協会
	4	日	指定専門学校推薦入試、北辰会、関西漢方苞徳塾、医鍼会
	5	月	日本コアコンディショニング協会
	7	水	中期授業開始
	8	木	古典鍼灸勉強会
	10	土	中医研
	11	日	森ノ宮手技療法研究会、和魂漢才鍼灸
	14	水	未修得単位試験(鍼灸学科)(~16日)
	15	木	古典鍼灸勉強会
	16	金	中医研
	17	土	アロマ講座、森ノ宮柔道整復研究会
	18	日	第1回模擬試験(柔道整復学科3年)、日本刺絡学会講習会
	19	月	夏期臨床実習(鍼灸学科3年昼・夜)、古典鍼灸勉強会
	20	火	中医研
	21	水	教職員セミナー「心と理解とコミュニケーション」
	22	木	夏期臨床実習(鍼灸学科3年昼・夜)、日本鍼灸師会、古典研究会、アロマ講座
	23	金	校友会地方交流会(北陸地区)(~19日)、東洋はり医学会、日本鍼灸師会、医鍼会
	24	土	日本鍼灸師会、第8回オープンキャンパス、入試(A0・社・推・医)
	25	日	東成消防署自主防火指導

	21	水	古典鍼灸研究会
	22	木	中医研
	23	金	日本小児はり学会
	24	土	アロマ講座、運動器疾患柔道整復学研究会
	25	日	関西漢方苞徳塾、国際中医美容研究会、中華伝承医学、医鍼会、美顔鍼灸 日本臨床鍼灸懇話会、運動器疾患柔道整復学研究会
	26	月	基礎科目試験(鍼灸学科1年)(~30日)
	27	火	理事会(大学にて)
	28	水	奨学金説明会、古典鍼灸勉強会
	29	木	中医研
	30	金	教職員セミナー「心と理解とコミュニケーション」
10月	1	土	一般公開講座、アロマ講座、教職員健康診断(~31日)
	2	日	保健医療科学研究会、手技を考える会、和魂漢才鍼灸、森ノ宮手技療法研究会
	5	水	古典鍼灸勉強会、ドイツ鍼灸師1名来校
	6	木	東洋療法学校協会学術大会(大阪国際交流センター)
	8	土	アロマ講座、森ノ宮柔道整復研究会
	9	日	第9回オープンキャンパス、アロマ講座、入試(高・AO・社・推・医・指定校・卒・在) 実践臨床講習会、こどもの健康サークル
	11	火	基礎科目追試験(~14日)(鍼灸学科1年)
	12	水	袴展示会、古典鍼灸勉強会、入試(ナイター)
	13	木	袴展示会、中医研
	15	土	古典研究会、アロマ講座
	16	日	手技を考える会、東洋はり医学会、医鍼会、日本臨床鍼灸懇話会
	17	月	学生・教職員自衛消防訓練
	19	水	古典鍼灸勉強会、入試(モーニング)
	20	木	中医研
	22	土	ビジネストレーニングアカデミー、アロマ講座
	23	日	関西漢方苞徳塾、大阪府鍼灸師会、ビジネストレーニングアカデミー、中華伝承医学 こどもの健康サークル
	25	火	理事会(大学にて)
	26	水	古典鍼灸勉強会
	27	木	中医研
	28	金	第1回模擬試験(鍼灸学科3年)
	29	土	アロマ講座、スポーツ医学研究会
	30	日	実技卒業試験(柔道整復学科3年)
11月	1	火	関西文化の日ミュージアムオープン展示(~30日)
	2	水	文化祭準備(鍼灸学科・柔道整復学科1・2年)
	3	木	文化祭、学生・教職員クリーンアップ作戦(森ノ宮駅前、緑橋駅前、通学路の清掃)
	4	金	学内推薦入試説明会
	5	土	パソコンゼミ特別講座、アロマ講座
	6	日	第10回オープンキャンパス、入試(高・AO・社・推・医)、手技を考える会、 和魂漢才鍼灸
	8	火	文化祭の売上寄附金を学生会より東日本大震災日本赤十字社、協同募金会、盲導犬施設へ各 寄附
	10	木	中医研
	12	土	徳洲会看護研究発表会
	13	日	財団実技審査(柔道整復学科3年)
	14	月	中期試験(~18日)(鍼灸学科1・2年)
	15	火	袴展示会(~17日)
	18	金	理事会・評議員会(専門学校にて)
	19	土	古典研究会
	20	日	第1回卒業試験(鍼灸学科)、奨学金返還説明会、美顔鍼灸会、東洋はり医学会、光栄 医鍼会、太極拳勉強会
	21	月	オータムスクール(~25日)(鍼灸学科)
	24	木	はりきゅう実技審査(鍼灸学科3年)、中医研
	26	土	森ノ宮柔道整復研究会
	27	日	関西漢方苞徳塾、保健医療科学研究所、日本臨床鍼灸懇話会、中華伝承医学、医鍼会 ライフステージ
	28	月	後期授業開始(鍼灸学科)、第2回学内推薦入試(~30日) 中期追試験(~12/9)(鍼灸学科1・2年)、中期試験(~12/3)(柔道整復学科1・2年)
	30	水	古典鍼灸勉強会

平成23年度 事業報告書

12月	3	土	日本コアコンディショニング協会
	4	日	第11回オープンキャンパス、入試(A0・高・社・推・医) 日本コアコンディショニング協会、勉強会、こどもの健康サークル、和魂漢才鍼灸
	5	月	後期授業開始(柔道整復学科)、強化授業(～22日)(鍼灸学科3年)
	7	水	古典鍼灸勉強会、公開講座全4回「きれいになるツボ講座」
	8	木	中医研
	10	土	スポーツセミナー、アロマ講座、森ノ宮柔道整復研究会
	11	日	第2回模擬試験(柔道整復学科3年)、入試(高・社・推・医・卒・在) 日本コアコンディショニング協会
	13	火	袴展示会(～15日)
	14	水	入試(ナイター)、古典鍼灸勉強会、公開講座「きれいになるツボ講座」
	15	木	中医研
	17	土	ビジネストレーニングアカデミー、古典研究会、スポーツセミナー、勉強会 アロマハンドトリートメント、スポーツ医学研究会
	18	日	森ノ宮手技療法研究会、手技を考える会、東洋はり医学会、大阪府鍼灸師会、医鍼会 ビジネストレーニングアカデミー、日本臨床鍼灸懇話会、森研、太極拳部 運動器疾患柔道整復学研究会
	19	月	年内講義最終日(柔道整復学科)、授業アンケート実施(～1/18)
	20	火	理事会(大学にて) 中期追試験・補講・3年前期末修得単位試験(～26日)(柔道整復学科)
	21	水	入試(モーニング)、古典鍼灸勉強会
	22	木	年内講義最終日(鍼灸学科)、中医研
	23	金	和鍼工房寺子屋
	25	日	手技を考える会、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学、医鍼会
	27	火	運動器疾患柔道整復学研究会(～29日)
	28	水	冬期休暇(～1/3)
1月	4	水	新年五礼会 ホテルグランヴィア大阪
	6	金	第2回模擬試験(鍼灸学科)、授業開始(鍼灸学科1・2年、柔道整復学科1～3年)
	7	土	機能改善体操講習会、高校生のためのスポーツセミナー ドジャース谷トレーナー講演会
	8	日	中華伝承医学会、機能改善体操講習会、和魂漢才鍼灸
	9	月	卒業試験(柔道整復学科)、奨学金返還説明会
	11	水	古典鍼灸勉強会、公開講座「きれいになるツボ講座」
	12	木	中医研
	14	土	日本コアコンディショニング協会、スポーツセミナー、日本小児はり学会理事会
	15	日	第12回オープンキャンパス、入試(A0・高・社・推・医・卒・在) 就職支援セミナー、東洋はり医学会、日本コアコンディショニング協会 医鍼会、就職相談会
	18	水	入試(ナイター)、古典鍼灸勉強会
	19	木	中医研
	21	土	古典研究会
	21	日	中本地区防災避難訓練、手技を考える会、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学、医鍼会 日本臨床鍼灸懇話会、三美会
25	水	入試(モーニング)、学内保育設置所説明会、古典鍼灸勉強会 公開講座「きれいになるツボ講座」	
26	木	中医研	
28	土	森ノ宮柔道整復研究会	
29	日	入試(高・社・推・医)、中華伝承医学会、大阪府鍼灸師会	
2月	4	土	アロマ講座、少年柔道教室
	5	日	第2回卒業試験(鍼灸学科)、第3回模擬試験(柔道整復学科)
	7	火	献血
	8	水	古典鍼灸勉強会
	9	木	中医研
	12	日	第13回オープンキャンパス、入試(A0・高・社・推・医)、和魂漢才鍼灸
	14	火	業界案内(鍼灸学科3年)
	15	水	学内保育運営所説明会、入試(ナイター)
	16	木	中医研
	17	金	アロマ公開講座
18	土	機能改善体操講習会、日本コアコンディショニング協会	
19	日	東洋はり医学会、保健医療科学研究所、機能改善体操講習会、医鍼会	

	20	月	後期試験（～24日）（鍼灸学科）
	21	火	理事会（大学にて）
	22	水	入試（モーニング）
	24	金	日本コアコンディショニング協会
	25	土	消防設備点検、日本コアコンディショニング協会、古典研究会、森ノ宮柔道整復研究会
	26	日	第20回はり師・きゅう師国家試験、入試（高・社・推・医・卒・在） 日本コアコンディショニング協会、手技を考える会、中華伝承医学、医鍼会 大阪府鍼灸師会、日本臨床鍼灸懇話会、関西漢方苞徳塾
	27	月	後期試験（～3/2）（柔道整復学科）、補講（～3/2）（鍼灸学科）
3月	1	木	創立記念日
	3	土	少年柔道教室
	4	日	和魂漢才鍼灸、太極拳部セミナー、第20回柔道整復師国家試験
	5	月	補講（～7日）（柔道整復学科3年）、後期追試験（～9日）（鍼灸学科） アロマ公開講座
	10	土	少年柔道教室
	11	日	第37回卒業式式典（ホテル大阪ベイタワー）
	12	月	後期追試験・補講（～16日）（柔道整復学科1・2年）
	13	火	経絡治療クラブ
	16	金	スポーツセミナー、アロマ公開講座
	17	土	機能改善体操講習会、日特卒後研修、古典研究会、少年柔道教室、鍼灸学科職員会議
	18	日	入試（高・社・推・医・卒・在）、森ノ宮手技療法研究会、東洋はり医学会 機能改善体操講習会、光荣、運動器疾患柔道整復学研究会、三美会 日本臨床鍼灸懇話会、開業支援セミナー、太極拳部勉強会
	21	水	施設設備会議、教職員自主救助訓練（AED講習）、経絡治療クラブ
	23	金	スポーツセミナー、柔道整復学科職員会議
	24	土	少年柔道教室、クリニック新卒者研修会
	25	日	手技を考える会、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学、開業支援セミナー 大阪府鍼灸マッサージ師会、パソコンゼミ動画講座
	26	月	古典鍼灸勉強会、東日本大震災義援金を「日本赤十字社」へ寄附
	27	火	経絡治療クラブ、日本刺絡学会、理事会（大学にて）
	28	水	第20回はり師・きゅう師国家試験合格発表、第20回柔道整復師国家試験合格発表 古典鍼灸勉強会
	30	金	理事会・評議員会（専門学校にて）
	31	土	少年柔道教室、スポーツ医学研究会

（田畑 京美）

## 2. 専門学校の在籍学生数と学生動向について

平成24年 4月1日現在		1年			2年			3年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)
鍼灸学科	昼	129	7	1	90	1	1	90	6	2	309	14	4
	夜	52	1	1	49	1	0	54	9	0	155	11	1
柔道整復学 科	昼	111	5	0	88	10	1	78	9	2	277	24	3
	夜	64	1	1	62	1	4	65	12	0	191	14	5
合計		356	14	3	289	13	6	287	36	4	932	63	13

\* 留年および休学は在籍者数の内数

### ● 専門学校の年度別退学者数

(単位:名)

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
退学者数	30	36	26	42	42
退学者比率	3.0%	3.8%	2.8%	4.6%	4.7%
在学生数	986	951	928	905	898

(田畑)

## 3. 専門学校の入試について

### 専門学校入学試験の受験者数(平成24年度入学向けの入試)

平成二四年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	AO入試①	AO入試②	AO入試③	AO入試④	AO入試⑤	AO入試⑥	AO入試⑦	AO入試⑧	AO入試⑨	AO入試⑩	AO入試⑪	AO入試⑫	AO入試⑬	モーニング入試①	モーニング入試②	モーニング入試③	モーニング入試④
				鍼灸	午前	60	0	2	2	1	1	3	3	9	4	5	9	9	5	5
	医	15	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	鍼昼	45	0	2	0	1	0	5	2	3	2	4	6	0	0	0	0	1	0	0
	鍼夜	60	0	0	1	2	0	1	2	4	0	2	3	6	4	4	0	0	0	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	6	4	5	5	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	2	1	4	3	2	4	2	6	4	8	11	3	5	5	0	0	0	0
	柔夜	60	1	0	2	2	3	1	1	1	6	4	2	3	5	5	0	1	0	1
合計		330	3	5	9	15	10	19	16	31	25	23	32	21	19	19	1	2	0	1

平成二四年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	ナイター入試①	ナイター入試②	ナイター入試③	ナイター入試④	ナイター入試⑤	指定校推薦①	指定校推薦②	指定校推薦③	高校生①	高校生②	高校生③	高校生④	高校生⑤	高校生⑥	高校生⑦	高校生⑧	高校生⑨
				鍼灸	午前	60	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	医	15	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鍼昼	45	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	鍼夜	60	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	柔夜	60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		330	0	2	0	0	0	1	0	4	12	3	0	0	0	2	0	1	1	0



平成二四年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	社会人①	社会人②	社会人③	社会人④	社会人⑤	社会人⑥	社会人⑦	社会人⑧	社会人⑨	社会人⑩	社会人⑪	社会人⑫	社会人⑬	社会人⑭	社会人⑮	社会人⑯	社会人⑰
				鍼灸	午前	60	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
医	15	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼	45	0	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	8
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0
	柔夜	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2	3
合計		330																		

平成二四年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	推薦①	推薦②	推薦③	推薦④	推薦⑤	推薦⑥	推薦⑦	推薦⑧	推薦⑨	推薦⑩	推薦⑪	推薦⑫	推薦⑬	推薦⑭	推薦⑮	推薦⑯	推薦⑰
				鍼灸	午前	60	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0
医	15	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍼昼	45	0	0		0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	1	0	0	0
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	1	1	1	1	0	2	2	1	1	1	2	1	4	1	0	0	0
	柔夜	60	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1	1	1	
合計		330	0	1	1	3	1	0	2	5	2	4	6	5	4	6	3	1	2	

平成二四年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	医療人①	医療人②	医療人③	医療人④	医療人⑤	医療人⑥	医療人⑦	医療人⑧	医療人⑨	医療人⑩	医療人⑪	医療人⑫	医療人⑬	医療人⑭	医療人⑮	医療人⑯	医療人⑰
				鍼灸	午前	60	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
医	15	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1	0
鍼昼	45	1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
鍼夜	60	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柔昼	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	柔夜	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
合計		330	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	4	3	0	2	0

平成二四年度入試第一志望内訳	学科	コース	定員	学内推薦(在)①	学内推薦(卒)①	学内推薦(在)②	学内推薦(卒)②	卒業生・在校生①	卒業生・在校生②	卒業生・在校生③	卒業生・在校生④	卒業生・在校生⑤	
	鍼灸	午前	60	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		医	15	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		鍼昼	45	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0
		鍼夜	60	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	柔道整復	柔ア	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		柔昼	60	5	3	2	1	0	0	0	0	0	0
		柔夜	60	5	3	2	3	0	0	0	0	0	1
	合計		330	24	12	6	5	0	0	0	0	0	1

合計	倍率
74	1.233
19	1.267
51	1.133
52	0.867
44	1.467
96	1.600
69	1.150
405	1.227

(田畑 京美)

## 専門学校入試事務室の事項について

### (1) 専門学校募集状況について

平成 23 年度（24 年度募集）の受験者数は平成 22 年度（23 年度募集）より増加した。入試事務室は平成 19 年度（20 年度募集）の際に、受験生が大幅に減少したことを契機に入学試験や募集活動を統括する目的でつくられ、教職員全体で様々な課題に取り組んできた。その結果、3 年連続で受験者数が増加することとなり当初の目標を達成することはできてきている。しかし、一旦増加した同種の専門学校数は減少しておらず、依然として厳しい状況が続くと予想されるが、平成 23 年度については、以下の目標を重点課題としてかかげ、一定の成果がみられたことから、さらに分析を行い次年度募集に向けての新たな方策のベースとしていきたい。

#### 高校生募集の強化

本校では伝統的に業界での評価があることから、社会人の受験生、特に卒業生や業界関係者からの推薦で受験する推薦入試が募集の中心を占めてきていた。本校においては、系列の森ノ宮医療大学にも鍼灸学科が存在することから、高校生への募集は大学を中心に展開する方向性であったため、専門学校としては社会人をいかにして獲得していくかが課題であった。しかし、専門学校数の増加に伴い社会人受験生が減少傾向を示してきているのは本校だけでなく同種の学校全体の状況であった。一方で新設専門学校は高校生を中心とした募集活動を行っており、従来よりも多くの高校生が専門学校に入学している現状があり、本校においても専門学校志望の高校生に対する募集対策を重点課題として 3 年前から積極的な取り組みをスタートした。

#### 〔指定校推薦〕

指定校推薦は昨年度募集から本格的に導入し早い段階から各高校へのアプローチを行い 12 名の応募があった。今年度も継続して、重点課題としてさらに指定先の絞り込みを行い取り組んだ結果、昨年と同数の 12 名の応募を確保することができた。

#### 〔出張講座〕

教員の積極的な協力体制と広報スタッフの努力によって、多くの高校に出張講座を実施した。今年度の受験傾向として一つの高校から複数名の受験生があるケースが多くなってきたことがあり、出張講座の活動が徐々に実を結んできているように考えている。

高校生対策としては、一定の成果が見られはじめていることから、ここ数年の取り組みをベースにしていくという道筋が見えてきたと考えている、しかし、余談を許さない状況であることから、安心するのではなくさらに新しい取り組みを加えていきたい。

### (2) オープンスクール及び学外ガイダンスについて

平成 21 年度募集から実施してきた、入学試験は事務局が運営、オープンスクールについては教務主体で企画立案し広報が運営というスタイルが定着し、全体のレベルアップにつながってきている。その結果として、平成 24 年度募集におけるオープンキャンパス来場者は、前年より増加している。

しかし、同方式が 3 年継続していることもあり、次年度はリニューアルの予定である。

(3) 平成23年度募集状況のまとめ

専門学校数の増加により多くの学校が苦慮している中、本校においては平成23年度はすべてのデータで前年実績を上回る状況となった。これは、教務・事務局・広報各部門が高い意識をもって連携し、効果的な募集対策を検討してきた結果と考えている。今後も、本校の学生募集の大きな基盤である卒業生や業界から推薦を受けた推薦入試に依存するのではなく、それ以外の受験生（一般社会人および高校生）も重視していきたい。

(清水 尚道)

#### 4. 森ノ宮医療学園専門学校の国家試験合格率の推移

##### はり師きゆう師 国家試験(第37期)

国家試験成績		平成23年度(第20回)24年2月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	はり師	135	116	85.9%
	きゆう師	135	114	84.4%
当校のべ受験者	はり師	166	114	69.9%
	きゆう師	166	114	68.7%
全国平均	はり師	5015	3651	72.8%
	きゆう師	4996	3498	70.0%

##### 柔道整復師国家試験(第10期)

国家試験成績		平成23年度(第20回)24年3月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	柔道整復師	115	112	97.4%
全国現役受験者	柔道整復師	4870	4516	92.7%
当校のべ受験者	柔道整復師	175	132	75.4%
全国のべ平均	柔道整復師	6754	5227	77.4%

(森 優也・吉川 徹)

## 5. 専門学校の求人と就職状況について

### (1) 本校に対する求人倍率

一般職業紹介状況（職業安定業務統計）によると、平成 23 年平均で有効求人倍率は 0.68 倍となり、前年度の 0.52 倍を上回った。

本校の職業紹介利用者	本校の求人倍率	全国の求人倍率（参考）
151 人	6.95 倍	0.68 倍

### (2) 初任給平均額

#### 《正社員》

	月給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	200,000	300,000	110,000	452
柔道整復師	210,000	350,000	110,000	544
学生	147,000	210,000	50,000	172

#### 《アルバイト》

	時給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	992	2,000	700	252
柔道整復師	1,016	2,000	700	265
学生	851	2,000	700	452

平成 23 年賃金構造基本統計調査（初任給）によると、「医療・福祉」の産業別で 19 万 4,100 円（大卒）となっている。本校に対する正社員給与額は、最高 35 万円から最低 11 万円と、同じ有資格者でもあっても臨床経験の有無等によって大きく異なっている点については例年と変わらない。

相変わらず、売り手市場ではあるが、施術所一件当りの正社員の就業者の人数は減少傾向にある。さらに患者は分散している傾向が強くなっており、施術所においては利益を生み出すことが難しく、人件費を抑えるべくアルバイトの雇用が平成 23 年度も増加した。また、卒業生や在校生は開業志向よりもサラリーマン志向がますます強まり、求人募集が資格取得者から無資格の学生を希望するケースが増えているなど、経営・採用・待遇など諸条件の変化は社会不況の環境下のみならず、柔整の療養費請求で今年度大きな保険改正が行なわれると考えられるので、今年度は業界の転換期となる可能性がある。

### (3) 学生動態

優良な鍼灸整骨院を中心として国試終了後は他校との求人先のバッティングが起こることが多いが、優秀な卒業生を優先的に送り込むなどパイプの確保に努めている。

例年、卒業生が就職活動へと行動するピークとなる時期は国試後から卒業式後となるが、ここ数年はそれよりも遅く、就職に対してゆっくり行動している卒業生が年々多くなり、合わせて優良な求人先への就職が不利な条件となってしまう。

就職するまでに時間が掛かる学生の特徴としては、被雇用者に対する社会保険制度加入の有無や福利厚生の実施などをはじめとする理想と現実とのギャップを感じて就職活動に戸惑いを見せる傾向にある。

その他、院長やスタッフ、患者ともコミュニケーションをとることが困難な者が増加している。前者については、時間をかけ指導することで理想と現実の差異を小さくしていくことで改善を目指すことはできるが、後者に関しては、個人の性格や、これまでの人生経験に起因しているケースもあり改善は難しいが、セミナー等を実施し改善を図りたいと考える。

また、卒業後数年経過している転職希望の卒業生数はこの一年で増加傾向にある。

(4) 就職関連セミナー

『レセプト講習と柔道整復師を取り巻く業界事情』

3/18 (日) 参加人数 6人

『クレーム対応術』

3/25 (日) 参加人数 5人

『レセプト実務』

4/1 (日) 参加人数 5人

(5) 求人検索システム (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月間	累計アクセス数	14,499	12,060	10,576	10,737	11,770	14,912	
	累計訪問者数	1,008	833	884	993	951	793	
1日当たり	アクセス数	平均	483	389	352	346	379	497
		最大	2,088	1,315	890	776	1,129	1,170
	訪問者数	平均	33	26	29	30	32	31
		最大	53	48	41	52	63	52
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		8,757	11,183	13,551	7,818	12,031	16,778	
		821	863	863	778	905	1,222	
		282	372	437	252	414	541	
		725	802	3,020	554	891	1,239	
		25	27	27	25	31	39	
		45	51	54	48	75	68	

平成21年度より本校に対する求人情報を集約した求人検索システムを導入した。本システムは、在学中の治療所勤務経験の向上も含め学生に求人に接する機会を増やし、卒業生においては自宅（実家）でも容易に就職活動を可能とした。

利用状況は導入当初より好調で、卒業生からの評判も良い。また、求人先からの評価も高く、他校との比較優位性が少なくなってきた状況であったが、「求人先が多い森ノ宮」のイメージづくりに一役買っている。また、この求人検索のシステムはWEB上で募集内容をタイムリーに更新でき、給与額変更などの簡単な修正もできることが特徴である。

また、今後の課題として、パソコンよりも携帯電話やスマートフォンに慣れた高校新卒者の割合も増加してきているので、求人検索システムをスマートフォン対応にする必要があると考えている。

(川鍋 史一)

## 6. 森ノ宮医療学園専門学校奨学金について

### (1) 日本学生支援機構奨学金

- 平成 23 年度中に本校在學生に貸与された奨学金総額（入学時特別増額含む）  
4 億 2,218 万円
- 奨学生数（全学年中）  
390 人
- 月額貸与額平均（併用貸与者含む）  
9 万 1,820 円

《奨学生数の推移》 (前年度比)

新規採用	期末満期（卒業等）	期中異動（退学等）	次年度継続希望
137 人（4%減）	122 人（18%増）	49 人（350%増）	220 人（8%減）

《新規採用者内訳》 (単位：人)

	予約採用	定期採用	追加採用	緊急応急	合計
一種	4	12	—	0	16
二種	24	52	43	2	121
合計	28	64	43	2	137

高校最終学年で進学先の奨学金貸与を認める予約採用割合は、平成 22 年度と同数であった。本校に割り当てられる推薦内示数（権利数）への影響は限定的で、平成 22 年度とほぼ同数となっている。現在の社会不況に対する申込数の増加は、平成 21 年度からある程度織り込み済みであったが、定期採用に漏れる学生がこの数年 50 名程となっている。しかし、採用割合は平成 22 年度に引き続き 100%となった。

追加採用で全員救済されない場合の対策として応急採用を積極的に行っていた結果、資金面での理由を挙げて退学する者は抑制できた。このように積極的に学費面でのサポートを行った結果、平成 23 年度新規採用した奨学生は 137 名となり 7 年連続 100 名超を更新することとなった。

出身高等学校での予約採用者の増加は、今後も継続すると予測でき、返還延滞者の増加につながらないように引き続き在学中の指導強化に注力することが重要と思われる。

日本学生支援機構全体での近年奨学金の返還に係る延滞額及び延滞人数が増加し続け、平成 21 年度中に返還すべき額 3983 億円に対して、797 億円が未返還となっており、延滞人数は約 34 万人となっている。返還金の回収状況は、憂慮すべき状況になっている。機構では、この現状を厳粛に受け止め、督促の強化・学校への直接指導など対策を実行している。本校の結果は全国平均レベルだが、延滞率等の改善に向け、貸与終了者の返還意識を高めることを継続的に指導している。

### (2) オリコ教育ローン

《新規採用者内訳》 (単位：回) (単位：円)

	入金回数	入金総額
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	14	6,024,705

全体から見れば利用者は相変わらず少数である。現在の世界経済の状況から今後需要は増えると考えられる。

教育ローンの中でも、申込手続きが早く簡単で収入によるが連帯保証人を立てずに申し込みが可能など、審査基準が比較的低いなどが特徴である。学費を延滞していたり、利息の高い消費者金融を利用している学生に借り換えさせるなど、有効に学業を継続させるサポートができています。平成 23 年度からは、海外研修参加費のように少額なものも扱えるようにした。

(川鍋 史一)



## 7. 教務部門

平成 23 年度も前半は受験者数が伸び悩み、教職員に危機感が生まれた。その結果、入学定員数確保を目標に、教務部門は事務・広報と一層連携を強くし、学校説明会等の企画から運営を見直し、また教職員による高校への出張講義をより一層積極的に実施し、年度末には予定した入学者数を確保することができた。

教務では、①良好な学習環境の整備や在校生のケア、さらに卒業生の就職や開業など経済的な安定化へのアシスト。②本学は「臨床の森ノ宮」を本校の重要な根本的精神として常に他校をリードし、開学以来、優秀な卒業生を世に送り出してきた。その伝統を絶やさないためには、附属診療所での臨床実習の質の向上をはじめ、学外鍼灸院、医療関係、さらに業界はもとより他業種との連携や活用を検討し深める。③学生に対する指導、対応における教職員の質の維持向上、④教員自身が学会等での発表、投稿を積極的に行い学術的なスキルアップを図る、の 3 点をメインに取り組んだ。

以下、平成 23 年度の実績を報告する。

### 1. 受験生の確保、教育環境整備や在校中のケア、卒業後の就職や開業の支援

#### 1) 受験生の確保

教職員・広報一丸での学校説明会の実施、見学者に対するきめ細やかな対応。さらに、世間一般への鍼灸および本校の認知度を高めるべく、高校等への出張訪問を実施した。

#### 2) 教育環境整備計画・在校中のケア

昨年度、本校舎やアネックス校舎などの改築や整備が完了し、23 年度は活用し、教育の充実を計った。具体的には、正規の授業や希望者へのゼミの実施（補講、アロマ、統計、パソコン講座等）、さらに学内外の研究会、勉強会への提供を実施した。

#### 3) 鍼灸業界との連携と卒業後の支援

大阪府鍼灸師会・柔道整復師会との連携に加え、大阪府鍼灸マッサージ師会との連携を強化した。講師派遣や会場提供を行い、さらに就職相談会等の開催で業界との連携を密にした。

### 2. 「臨床の森ノ宮」は本校の重要な柱で、附属診療所での臨床実習での質の向上

臨床を意識した授業やゼミや臨床実習、学外医療機関、鍼灸院等での見学等で質の向上を図った。

### 3. 教員の充実とスキルアップ

#### 1) 更なる教育の充実のため優秀な外部講師を採用した。

#### 2) FD・新人研修等を実施し教員の資質向上を図った。

新人研修は「学園の成り立ち」、「専門学校組織」、「専門学校の教育」について実施した。FDは「防犯について」「個人情報について」、「心の理解とコミュニケーション」など開催した。

#### 3) 教職員の学会等での発表、学会誌への投稿を積極的に行う。

積極的な教員も若干いたが、全体的には不十分であった。

#### 4) 授業評価、自己点検・自己評価の実施

学生に対してよりよい授業を提供するために、学生による授業評価を実施し、各教員に報告した。評価内容は概ね良好な結果で、よりよい授業にするための意識改革は徐々に浸透している。

また、自己点検・自己評価を本年度は各部署から無作為に 20 名抽出し実施した。平成 24 年度以降、本格的に委員会を立ち上げ、公表を目指す。

#### 4. 学生指導

- 1) 鍼灸実技・解剖学・生理学などの課外授業を実施。
- 2) 解剖見学実習を両学科ともに実施し、解剖学のスキルアップや生や死の倫理観を学んだ。
- 3) 海外研修  
海外研修では鍼灸学科では中国江陰中医院と天津中医学大学、柔道整復学科ではフロリダ研修を実施した。
- 4) 国家試験合格率の向上に努めるとともに国家試験受験不合格者への支援を実施した。

#### 5. その他

- 1) 本校独自の3Dの教材の開発と授業への応用  
解剖学や経穴等は3次元でのイメージが必須である。そのため学生の教育効果を上げる3D教材の開発と授業への応用を実施した。

(尾崎 朋文)

## 8. 専門学校図書室について

(1) 登録図書数 : 17657 冊

	図書閲覧室	貴重書室	鍼灸室	倉庫	合計
総記	374	13	0	17	404
哲学	430	13	0	8	451
歴史	255	11	0	2	268
社会科学	385	3	0	2	390
自然科学	12630	1214	134	1052	15032
技術	83	3	0	12	98
産業	36	5	0	1	42
芸術	418	4	0	37	459
言語	135	3	1	34	173
文学	75	11	0	3	89
その他	2	2	0	7	11
合計	14823	1282	135	1175	17417

①寄贈図書 : 17 冊

②定期購読雑誌 : 23 誌

(2) 年間概況

①開室 : 月～金 (10 : 30～21 : 30)

②貸出利用頻度

月	稼働 日数	貸出統計						視聴覚閲覧統計					
		柔整 1	柔整 2	柔整 3	鍼灸 1	鍼灸 2	鍼灸 3	校友会	教職員	学生	教職員	校友会	学外
4	20	19	31	47	31	132	101	169	55	11	2	11	14
5	18	19	28	93	50	114	76	120	56	9	0	4	13
6	22	22	15	94	61	74	50	124	56	15	1	5	9
7	20	18	36	109	71	121	75	74	44	13	0	2	1
8	20	12	7	133	42	54	57	71	44	16	0	0	6
9	20	38	24	68	44	115	43	92	52	19	1	1	0
10	20	36	20	12	73	74	35	63	51	15	0	0	0
11	19	26	6	20	51	62	30	53	31	9	1	0	0
12	21	25	33	22	90	113	37	56	64	14	5	0	0
1	17	15	21	15	76	56	18	70	38	3	3	2	0
2	15	8	19	17	48	44	25	79	33	5	2	2	0
3	20	31	58	0	66	73	3	71	35	3	0	0	0
合計	232	269	298	630	703	1032	550	1042	559	132	15	27	43
総合計		柔整=1197			鍼灸=2285			全体=5083			全体=217		

(3) 図書購入状況及び活動

1月 : 図書購入 135 点

3月 : 蔵書点検

①リクエスト数 : 8名から21種のリクエストがあった。

・来年度は購入数、リクエスト数を増加させたい。

(尾崎 朋文)

## 9. はりきゅうミュージアムについて

### (1) 活動状況

- 8月 : はりきゅうミュージアムの iPhone 用アプリを公開
- 11月 : 関西文化の日参加

### (2) 利用者概況

月	稼働 日数	はり灸ミュージアム統計(土日は含まれず)			
		全体	通常見学者	学校見学者	紹介の見学
4	20	3	1	2	0
5	18	13	2	3	8(ドイツ)
6	22	11	1	7	3
7	20	16	13(盲学校 10)	1	2
8	20	8	4	0	4
9	20	32	30(大阪医専)	0	2
10	20	40	26(浜松学院 23、マツキヨ 1、第一三共 2)	2	12
11	19	29	18	6	5
12	21	8	6	0	2
1	17	40	3	1	36
2	15	6	6	0	0
3	20	8	7	1	0
合計	232	214	117	23	74

- ・ミュージアム見学は概ね例年どおりであった。(2010年度は特別展だったので除く)
- ・ドイツからの見学も例年どおりであった。

(尾崎 朋文)

## 10. 森ノ宮医療学園専門学校各学科の部門報告

### (1) 鍼灸学科

#### 1. 医療資格者コースについて

22年度入学生より、カリキュラムの変更を実施し、運営も順調に行われていたが、24年度からは、カリキュラムを昼・夜間部と同一にし、昼間部に吸収する形で存続させる予定。

#### 2. 昼間部・夜間部カリキュラム変更に伴う対応について

23年度入学生より、昼間部の定員を90名、夜間部の定員を60名に変更し、昼間部については、午前に開講するコースを新設したが、午前コースの入学希望者が当初の定員30名を大幅に超えたため、2クラスとして運営した。

#### 3. 研修・研究について

8月の東洋療法学校協会教員研修会は、関東鍼灸専門学校が主管校となり東京ベイにて開催された。本校からは18名の教員が参加した。

また、10月の東洋療法学校協会学術大会は、大阪で開催され鍼灸学科全学年を出席させた。3年生昼間部の学生3名がポスター発表を行った。いっぽう、各学会および団体等の全国大会に対し、学生からの希望を募り、参加費の補助を行った。

#### 4. 授業および実習等について

5月に体育実習を昼間部・夜間部1年生を対象として、例年通り、救急講習を加え実施した。また、6月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生および医療資格者コース2・3年生を対象に実施した。7月に例年通り、サマースクールを開催し2年生においては、医療面接の講座を開講した。

#### 5. 臨床実習について

みどりの風鍼灸院にて、鍼灸学科学生388名に対し臨床実習を行った。特に医療資格者3年生は夜間の時間帯を利用し臨床実習を行った。

#### 6. オープンスクールの開催について

23年度は、12回開催された学校説明会に常勤教員が担当し、参加者に対して模擬授業等を中心に企画・構成・実行してきた。

#### 7. 大阪府教育センター「大学等オープン講座」について

8月、大阪府の幼・小・中・高・盲・聾・養護学校の先生対象の夏期セミナーに9名の参加者があり、3日間の講座を実施した。

#### 8. 会議の開催について

第一回教務・職員会議（前期の出席状況および成績の報告）

第二回教務・職員会議（中期の出席状況および成績の報告）

第三回教務会議（卒業式賞決定）

第四回教務会議・第三回職員会議（卒業生決定）

第五回教務会議・第四回職員会議（進級者決定）

(森 優也)

## (2) 柔道整復学科

### 1. 研修・研究について

8月末の柔道整復学校協会教員研修会は高松で開催され本校から15名の教員が参加した。柔道大会は8月中旬に東京にて開催され、選抜学生が参加した。

### 2. 授業および実習等について

6月および7月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生およびアドバンスコース2・3年生を対象に実施した。また、8月にアドバンスコース3年生を対象に、河村医院（整形外科）にて研修を実施した。5月から9月にかけて昼・夜間部3年生を対象に、みどりの風クリニックにて研修を実施した。6月にはアドバンスコース2年生のアメリカ研修（オレゴン）を実施した。

### 3. みどりの風クリニックに、教員2名をスタッフ助手として（1名は週2日、1名は週1日）派遣した。

### 4. 会議について

定例会議（毎月1回）

第一回教務・職員会議（前期の出席状況および成績の報告）

第二回教務・職員会議（中期の出席状況および成績の報告）

第三回教務・職員会議（卒業生決定）

第四回教務（卒業式賞決定）

第五回教務・職員会議（進級者決定）

### 5. 募集計画

アドバンスコースの募集対策として、平成20年度より継続中の高等学校への出張体験授業や説明会を実施、さらに昨年度から広報と連携して現役受験生の増加に対する取り組みを強化し、平成24年度アドバンスコースの入学生（36名）は全員が高校新卒者となるなど、効果が得られた。

### 6. その他

テーピング技術や基礎的運動生理学等を含めた高校生対象の講習会を昨年度に続き開催した。

日本柔道整復師会においては、NGO 支援無償資金協力の支援を受けて行っている海外に向けての日本伝統治療（柔道整復術）普及事業活動の支援を行った。

（葉山 直史）

## 1.1. 専門学校の施設設備について

専門学校の施設は、本校舎(地下1階、地上7階建一部6階)、アネックス校舎平屋と4階建、緑橋校舎3階建となっている。平成23年度は本校舎の一部改装工事を実施した。設備面では本校舎の地下は駐車場専用、1階と3階から6階は教室と実技室を配置し、各室にマイク、プロジェクターを設置して教育環境を整えている。また3階には図書室と鍼灸に関するミュージアム施設を設置し、同階の学生ホールは自由時間の勉強や団欒場所に利用されている。7階の講堂は学生のクラブ活動に利用されている。学園では自動車通学を禁止しているため、学生支援対策として自転車・単車の通学生のための駐輪場をアネックス校舎1階に設けている。同2階は柔道場、同4階は教室または多目的ホールとして大型液晶モニターを6台設置している。平屋の校舎には実技室を設けている。緑橋校舎は附属診療所(みどりの風クリニック・みどりの風鍼灸院)を併設して地域医療に貢献するため、1階は内科、整形外科を中心とした診察室、X線検査およびMR検査施設、2階は日常生活回復機能訓練設備を導入したりハビリテーション室、3階は教室と施術所があり一般患者の受け入れと学生の実習施設としての機能を果たしている。

各校舎は三ヶ所に分かれているが教育環境と衛生の向上を図るため、日常清掃(教室、廊下、机、いす、黒板等備品の清潔および破損状況の確認、ゴミ容器の回収・清掃、便所施設の清潔保持、故障点検、排水溝施設清掃点検)・定期清掃(毎月ワックス)の実施、空調機設備の定期点検清掃、各種定期保守点検(エレベータ、自動ドア、消防設備、電力関係)、水道水の水質定期検査、ねずみ等の害虫定期駆除を実施している。これらは一部を除いて業者に委託管理をしている。

感染症対策として、各階に消毒液を設置し教職員、学生、来校者への衛生啓発を図っている。教職員の労働衛生は、学校医による教職員・学生の定期健康診断と特定健康診査を実施し、保健指導を進めている。受動喫煙対策として室内全面禁煙と室外に喫煙所を設置している。更に受動喫煙対策の啓発を図り禁煙対策をすすめている。バリアフリー対策は各校舎にエレベータ設置とともに障がい者用トイレの設置を整えている。緑化計画として本校舎とアネックス校舎では植樹ならびにベンチを設置して景観といこいの場所を提供している。

防災対策として、消防計画を作成し火災、地震等の災害予防と人命の安全、被害の軽減を図るため自衛消防訓練を実施し、教職員、学生含めて防火管理の啓発を図っている。平成23年度は同時に有資格者によるAED使用による人命救助訓練も初めて行った。施設の防犯対策は各校舎に防犯カメラを導入している。また夜間警備については機械警備を業者に委託している。校舎の地域開放としては、柔道場を地域の森ノ宮少年柔道教室に土曜日開放し、活用を図っているほか、一部の日曜日には地域町会に教室開放もしている。秋の学園祭当日は地域住民に校舎開放を図っている。

平成23年度においても地域貢献のひとつとして、秋に学生・教職員による地域清掃をJR森ノ宮駅からの通学路と地下鉄緑橋駅からの通学路、学園周辺の道路清掃を実施している。更に地域共助を図る目的で東成区役所、東成区中本連合振興町会とともに地域での災害初期時における医療救護活動の連携を東成区医師会とともに校舎利用を含めた会議を実施した。

(古谷 壽宏)

### Ⅲ. 森ノ宮医療大学の業務報告

#### 1. 全体的な事項

##### (1) 文科省履行状況調査について

大学設置時から年度進行中の平成 21 年度までに付されている文部科学省および大学設置法人審議会から指摘されている留意事項は次の通りであった。

設置時	<p>大学設置分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画書を確実に履行すること。また、開設時から 4 年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。</li> <li>○開設時には視覚障害者の入学を考慮し、点字図書、録音図書などの教材を整備すること。(鍼灸学科)</li> </ul>
19 年度	<p>大学設置分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○FD 委員会を計画通り開催するとともに、授業評価アンケートの組織的な実施、その結果の効果的なフィードバックを含め、ファカルティ・ディベロップメント(授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究)の一層の推進に努めること。</li> <li>○森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> </ul>
	<p>法人分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。</li> <li>○定員超過の是正に努めること(理学療法学科)</li> </ul>
20 年度	<p>法人分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。</li> </ul>
21 年度	<p>法人分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学生生徒納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を努めること。</li> </ul>

上記の大学院完成年度までの留意事項については真摯に対応し、平成 20 年度以降は大学設置分科会から特に留意事項は付されておらず、平成 22 年度、23 年度も同様であった。

##### (2) 自己点検・評価・FD 活動について

平成 23 年度において自己点検・評価・FD 委員会は 15 回、FD セミナーは 2 回(延 3 回)、それぞれ開催され、委員会では外部認証評価に関することについて集中的に協議された。

なお、昨年度に引き続き平成 23 年度も授業アンケートの集計結果を全教員にフィードバックし、集計結果の所見(リフレクションペーパー)を学長あてに提出し、集計結果を学生等に公表し、問題点の改善に努めた。

(在川 洋平・瀬川 敏未)



### (3) 寄付金募集活動について

過去における実績と第IV期（平成23年4月1日から平成24年3月末）までの寄付者の内訳は次の通りであった。

#### 寄付募集状況

第I期（～平成21年3月末） 第II期（平成21年4月1日～平成22年3月末） 第III期（平成22年4月1日～平成23年3月末）		第IV期（平成23年4月1日～平成24年3月末）	
区分	寄付金額	区分	寄付金額
役員	15,800,000	役員	—
教員	5,730,000	教員	—
職員	740,000	職員	—
非常勤	3,540,000	非常勤	800,000
在校生（保護者含む）	700,000	在校生（保護者含む）	—
卒業生（保護者含む）	2,850,000	卒業生（保護者含む）	90,000
法人	4,850,000	法人	—
その他	2,630,000	その他	6,100,000
計	36,840,000	計	6,990,000

（瀬川 敏未）

### (4) 森ノ宮医療大学の施設設備について

平成23年3月11日に引渡された西棟（6階建4,566.38㎡）を加え、講義室24室（定員30～100名）、演習室15室、実験実習室23室、情報処理学習室1室、最大収容定員は約1400名（実習室・体育館等除く）となった。教室等の増加により、外部団体からの要望に応じて貸与も可能となった。学校法人にとって施設貸与は、社会貢献や大学の地域連携等に資することから、多様な外部に貸出できるよう新たに施設利用の取り決めに改訂した。

平成23年度の学生数は約600名、常勤教職員数は約100名となり、その人員に即した住環境の整備に努めた。また、1階事務室エリアの改修工事を行い、講師共同研究室、兼任講師控室の拡充とともに、学生相談室（約46㎡）を一室設けた。この改修工事によりキャナルクラブの面積は減少したが、メディアカフェ2階を開放し、学生の休憩の場所や自習スペースは確保している。

また、学生が要望している施設開放時間の延長に応えるため、東棟1階学生ホールについては19時半の退館時間を順次延長し、平成24年2月以降は21時まで開放している。この退館時間延長に伴い常駐警備員を配置し、セキュリティ確保に努めている。

学生の居住環境の拡充に努めるとともに、教育環境の維持のため日常清掃、定期清掃、設備点検及び樹木・芝生管理を例年通り徹底している。

（成田 丈朋）

## 2. 学生及び教育の事項について

在校生数の推移

平成 24 年 4 月（平成 24 年 4 月 25 日現在）

現員	1 年			2 年			3 年			4 年			合計		
	在籍	留年	休学	在籍	留年	休学	在籍	留年	休学	在籍	留年	休学	在籍	留年	休学
鍼灸	59	0	0	57	1	1	50	4	0	60	7	2	226	12	3
理学	68	0	0	71	3	0	67	6	0	64	3	0	270	12	0
看護	88	0	0	88	0	0							176	0	0
全体	215	0	0	216	4	0	117	10	0	124	10	2	672	24	0

(※留年数・休学数は在籍数の内数)

大学・年度別退学及び除籍者数

	H19 年度			H20 年度			H21 年度			H22 年度			H23 年度		
	退学数	在学数	退学率	退学数	在学数	退学率	退学数	在学数	退学率	退学数	在学数	退学率	退学数	在学数	退学率
鍼灸	3	75	4.0%	10	136	7.4%	7	190	3.7%	7	236	3.0%	6	235	2.6%
理学	3	78	3.8%	5	143	3.5%	10	206	4.9%	10	264	3.8%	9	270	3.3%
看護													0	88	0%
全体	6	153	3.9%	15	279	5.4%	17	396	4.3%	17	500	3.4%	15	593	2.5%

(※小数点第二位四捨五入)

(渡辺 鮎子)

### 3. 森ノ宮医療大学入学試験の状況について

【平成 24 年度入学試験受験者数】

H24 年度 鍼灸学科		第 1 志望	第 1 新規 人数	第 2 志望	第 3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学
							第 1	第 2	第 3	計			
AO①	8/28	16	(16)	1	1	18	16	1	1	18	17	1	16
AO②	10/1	4	(4)	1	0	5	4	1	0	5	3	0	3
指定校	10/13	5	(5)	0	0	5	5	0	0	5	5	0	5
推薦①	10/29	7	(7)	16	5	28	7	16	5	28	26	12	14
特待生	10/29	1	(0)	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
特→推薦①	10/29	0				0	0			0	0	0	0
推薦②	11/20	2	(0)	5	3	10	2	4	3	9	6	2	4
推薦③	12/11	4	(3)	7	0	11	4	6	0	10	8	3	5
一般①	1/29	1	(0)	16	3	20	1	16	3	20	15	5	10
社会人①	1/29	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般②	2/19	1	(0)	7	0	8	1	6	0	7	3	3	0
一般③	3/10	2	(2)	5	2	9	2	4	2	8	6	4	2
社会人②	3/10	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般④	3/24	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般⑤	3/29	1	(0)	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0
計		44	(37)	58	14	116	44	54	14	112	90	31	59

H24 年度 理学療法学科		第 1 志望	第 1 新規 人数	第 2 志望	第 3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学
							第 1	第 2	第 3	計			
AO①	8/28	48	(48)	2	0	50	47	2	0	49	13	0	13
AO②	10/1	27	(11)	1	0	28	27	1	0	28	8	1	7
指定校	10/13	1	(1)	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1
推薦①	10/29	66	(50)	6	2	74	66	6	2	74	20	2	18
特待生	10/29	2	(2)	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0
特→推薦①	10/29	1				1	1			1	1	0	1
推薦②	11/20	32	(9)	7	0	39	31	7	0	38	12	1	11
推薦③	12/11	35	(19)	0	0	35	33	0	0	33	8	2	6
一般①	1/29	29	(18)	11	1	41	29	11	1	41	8	3	5
社会人①	1/29	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般②	2/19	13	(4)	0	0	13	12	0	0	12	3	0	3
一般③	3/10	7	(3)	9	1	17	5	9	1	15	3	0	3
社会人②	3/10	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般④	3/24	1	(0)	2	0	3	1	2	0	3	0	0	0
計		262	(165)	38	4	304	255	38	4	297	77	9	68

H24年度 看護学科	第1 志望	第1 新規 人数	第2 志望	第3 志望	志願 合計	受験数				合格	辞退	入学
						第1	第2	第3	計			
AO①	8/28	76 (76)	1	1	78	76	1	1	78	12	0	12
AO②	10/1				0				0			0
指定校	10/13				0				0			0
推薦①	10/29	137 (108)	2	3	142	135	2	3	140	16	3	13
特待生	10/29	5 (5)	0	0	5	5	0	0	5	1	0	1
特→推薦①	10/29	3			3	3			3	3	1	2
推薦②	11/20	116 (41)	0	0	116	109	0	0	109	16	3	13
推薦③	12/11				0				0			0
一般①	1/29	94 (70)	2	1	97	92	2	1	95	38	14	24
社会人①	1/29	4 (4)	0	0	4	4	0	0	4	2	0	2
一般②	2/19				0				0			0
一般③	3/10	44 (31)	2	2	48	43	1	1	45	23	4	19
社会人②	3/10	3 (3)	0	0	3	3	0	0	3	2	1	1
一般④	3/24	9 (4)	0	0	9	9	0	0	9	1	0	1
計		491 (342)	7	7	505	479	6	6	491	114	26	88

資料請求者数の推移

	H19度	H20度	H21度	H22度	H23度	H24度
資料請求延べ人数	2786	3541	3432	3528	6216	9548
資料請求(実数)	2433	3140	3100	3267	5860	7524
OC参加延べ人数	468	729	570	534	1171	1391
OC参加(実数)	416	571	476	382	625	1022
志願者延べ数(複数志望カウント)	1089	894	530	368	989	925
志願者延べ数(第1志望カウント)	963	819	488	338	884	797
志願者(実数)	520	407	289	213	557	545
編入学入試			1	1		

【平成24年度大学院入学試験受験者数】

H24年度入学試験 大学院		志願 者数	受験 者数	合格	辞退	入学
第一次	9/14	0	0	0	0	0
第二次	1/16	0	0	0	0	0
第三次	3/12	1	1	1	1	1

(渡辺 鮎子)

## 4. 保健医療学部 鍼灸学科の事項について

### (1) 学科構成

- 1) 平成 22 年度末に中村辰三教授および倉林讓教授が退職した。平成 23 年度初めに仲西宏元教授、新谷卓弘教授、辻涼太助手が入職した。結果的に 23 年度末における専任教員は、教授 6 名、准教授 3 名、講師 5 名、助教 6 名、助手 1 名、および施術所技術職員 1 名であった。
- 2) 研究員等については、客員教授 1 名、客員講師 1 名、客員研究員 3 名、研究員 8 名となった。
- 3) 鍼灸臨床系授業を中心として鍼灸師のティーチング・アシスタント(TA) 8 名をパート雇用了。
- 4) 学科内を「臨床鍼灸部門」「基礎鍼灸部門」に分割し、役割分担を明確にした。鍼灸に関わる実技授業、臨床実習、学外実習の統括を仲西教授に依頼し、臨床系会議を開催して意識の統一を図った。

### (2) 行事(鍼灸学科のみに関連するもの)

- |             |   |
|-------------|---|
| 8 月 1 日     | 相互連携先の千里中央病院における週 2 回の病棟鍼灸治療を開始   |
| 8 月         | 附属施術所「はり・きゅうコスモス治療院」が西棟 1 階に移転  |
| 8 月 20・21 日 | 第 20 回鍼灸の研究と教育に関する研究会(熊本)を九州看護福祉大学と共同での企画・開催  |
| 8 月 19 日    | 大阪府・大阪市主催の魅力発信・体感イベント(大阪府咲洲庁舎)に看護学科、理学療法学科とともに参加し、「ツボ刺激による誰でもできるセルフメンテナンス」の相談ブースを設置 |
| 10 月 4 日    | 森ノ宮医療大学学術セミナー担当(坂出教授)   |
| 10 月 23 日   | 大阪市港湾局主催「2011 咲洲ベイウォーキング」において附属施術所鍼灸無料体験を実施   |
| 11 月 5 日    | 相愛大学×大阪府立急性期・総合医療センター×森ノ宮医療大学連携シンポジウム(大阪府立急性期・総合医療センター)におけるパネルディスカッション              |
| 1 月 10 日    | 森ノ宮医療大学学術セミナー担当(山下教授)   |
| 2 月 5 日     | 大阪府立急性期・総合医療センターにおける「ふれあい病院探検隊」で「はり・きゅう施術体験」を実施                                     |
| 2 月 22 日    | フランスの東洋医学系治療師養成学校教員 2 名来訪   |
| 2 月 26 日    | はり師・きゅう師国家試験(桃山学院大学)  |

### (3) 教育

- 1) 担任教員は、1 年生を辻・中原、2 年生を松熊・涌田、3 年生を仲西・増山、4 年生を鍋田・小島・が担当した。3・4 年生の指導にはゼミ教員も参加した。
- 2) 1 年生は新カリキュラムに従って授業が実施された。新たにキャリアデザインなどが組み込まれ、初年次教育の充実を図った。
- 3) 1 年生に対して、前期に実力試験を実施し、結果に基づいて期末試験前に個別指導を実施した。
- 4) 学生の受講態度を把握する為に教員に対してアンケートを実施した。結果を参考として専任教員による巡回指導を行い、安定を図った。
- 5) 附属施術所と連携し、開業時間を学生の臨床実習を行いやすい時間に変更した。その結果、臨床実習の回数を増加させ、カンファレンスと連動したカリキュラムを実行に移せた。
- 6) 国家試験対策の一環として実力試験 1 回、模擬試験 6 回を実施した。模擬試験問題は専任教員がローテーションで分担して作成した。

- 7) 国家試験対策の補助として夏季および直前に補習授業を行った。
- 8) はり師・きゅう師国家試験の結果、受験者 61 名のうちはり師合格者は 51 名(83.6%)、きゅう師合格者は 47 名(77%)であった。国家試験を受験した大学内では 1 位の結果であった。
- 9) 卒業研究の中間報告および最終報告会を開催し、卒業論文を提出させた。また、卒業研究論文抄録集を発行した。

#### (4)研究

- 1) 学科専任教員による研究業績は、査読付き学術論文 10 編（うち英語 3 編）、査読なし学術論文 13 編（うち英語 0 編）、著書 5 編（うち英語 0 編）、専門分野における解説・記事 13 編（うち英語 0 編）、一般向け解説・記事 0 編、学会発表 37 題（うち英語 2 題）であった。全般的に平成 22 年度よりも減少傾向であった。
- 2) 外部研究費獲得は、研究代表者として、日本学術振興会科学研究費補助金 3 件（山下、松熊、鍋田）、兵庫県柔道整復師会研究助成金 1 件（川畑）、東洋療法研修試験財団助成金 1 件（山下）であった。研究分担者としては、日本学術振興会科学研究費補助金 1 件（中原）、全日本鍼灸学会研究助成 2 件（山下、増山）であった。平成 22 年度と比較するとほぼ同等だが、科学研究費補助金は 1 件増加であった。

#### (5)社会貢献・国際交流

- 1) 8 月 19 日に大阪府・大阪市主催で開催された魅力発信・体感イベント(大阪府咲洲庁舎)に看護学科、理学療法学科とともに参加し、「ツボ刺激による誰でもできるセルフメンテナンス」において相談ブースを設置した。
- 2) 10 月 23 日に開催された大阪市港湾局主催「2011 咲洲ベイウォーキング」において、参加者に対して附属施術所で鍼灸無料施術を行った。
- 3) 11 月 5 日に開催された相愛大学×大阪府立急性期・総合医療センター×森ノ宮医療大学連携シンポジウム(大阪府立急性期・総合医療センター)におけるパネルディスカッションに山下仁鍼灸学科教授が出演した。
- 4) 12 月 26 日に開催した平成 22 年度大阪府教職員自主研修支援オープン講座で、膝痛をテーマとして理学療法学科とともに講師を務めた。
- 5) 2 月 22 日、フランスの東洋医学系治療師養成学校から教員 2 名が来訪し、学内および学園はりきゅうミュージアムを案内し、情報交換を行った。

#### (6)その他

- 1) 鍼灸学科会議開催を 14 回開催し、学科内の教育・研究・運営に関して議論し方針決定を行うとともに情報共有を図った。また、臨時学科会議を 2 回開催し、学科内 FD を行った。
- 2) 学科教員で分担して指定校推薦対象校などへの高校訪問や出張講義を行い、大学認知度の促進と優秀な入学生の確保に努めた。
- 3) TA の指導マニュアルを作成した。また、TA への連絡システムを一本化した。
- 4) 就職指導の一環として、学科内就職ガイダンスを 3 年生および 4 年生を対象として実施した。

(山下 仁, 鍋田 智之)

## 5. 保健医療学部 理学療法学科の事項について

### 平成 23 年度 報告

#### 1. 人員

23 年度 18 名（理学療法士教員 10 名、 助手 1 名、 共通教育教員 7 名）  
平成 23 年度退職者 2 名：松原勝美、丹羽亜希美  
平成 23 年度非常勤職員 3 名の採用（24 年 4 月より本採用）  
澤田優子（平成 23 年 10 月 1 日より週 2 回勤務）  
開田千鶴（平成 24 年 3 月 1 日より）  
中 正美（平成 24 年 3 月 20 日より）

#### 2. 教育

##### 1) 授業内容

- ①授業手法の見直しと改善を行った。成績不良者に対する個人面談を実施した。
- ②試験等の評価方法と判定基準の再設定
- ③国家試験を意識した、講義内容の充実を目指した。

##### 2) 国家試験対

国家試験の合格率を向上させるため、国家試験対策班を設立し、年間を通しての計画を立て講義と模擬試験を実施している。学生の成績から問題点を抽出し、分析シートを基に指導している。成績不良者においては個人指導を実施した。  
既卒者も聴講生として、この対策に参加した。以下に内容をあげる。

- ① 4 月オリエンテーション期間：過去 5 年間の国家試験過去問を分野ごとに分類して配布
- ② 第 1 回試験（第 47 回国家試験問題）：4 月初旬（全員）
- ③ 国試対策補講 1 クール目実習 2 期班を対象：4 月～5 月（37 コマ実施）
- ④ 第 2 回試験（過去 5 年間の過去問からの創作問題）：6 月（実習 1 班）
- ⑤ 国試対策補講 2 クール目実習 1 班を対象：6 月～7 月（37 コマ実施）
- ⑥ 第 3 回試験（過去 10 年間の過去問からの創作問題）8 月（全員対象）
- ⑦ 夏期対策講座受講ならびに保護者面談の対象者決定
- ⑧ 国試対策補講 3 クール目：夏休み夏期対策講座  
（受講者、時期、内容は定期試験日程、第 3 回試験の結果を見て判断した）
- ⑨ 第 4 回試験（外部模試〔医歯薬①〕）8 月（全員対象）
- ⑩ 第 5 回試験（創作問題）10 月下旬
- ⑪ 国試対策補講 4 クール目：11 月～12 月（37 コマ実施）
- ⑫ 第 6 回試験（創作問題）12 月  
（冬期対策講座受講ならびに保護者面談の対象者決定：）
- ⑬ 業者特別講義（平成 23 年 12 月 26 日～29 日 20 コマ）
- ⑭ 第 7 回試験（外部模試〔アイペック①〕）12 月
- ⑮ 国試対策 6 クール目：冬期休暇～2 月終講試験まで
- ⑯ 第 8 回試験（外部模試〔医歯薬②〕）1 月～2 月
- ⑰ 第 9 回試験（外部模試〔アイペック②〕）1 月～2 月
- ⑱ 第 10 回試験（外部模試〔アイペック③〕）1 月～2 月
- ⑲ 理学療法セミナー終講試験（セミナーで授業を行った内容で作成）
- ⑳ 国試対策 7 クール目：国家試験まで 2 週間
- ㉑ 第 11 回試験（外部模試〔アイペック④〕）1 月

国家試験の結果 23年度卒業生 59名中43名(72.9%) 全国平均82.4%  
22年度卒業生 17名中16名(94.1%)  
新卒者は、全国平均を下回る結果となったが、既卒者はほとんどが合格した。

- 3) キャリアデザインとしての講義を行い、教員によりディスカッションを実施した。
- 4) 担任制
  - ①担任制における問題点を踏まえ、そのあり方を検討する
  - ②各学年の担任設置の改善
  - ③一部チュートリアル制の導入
- 5) 臨床実習
  - ①学外実習地との連携を行い、来年度の実習形態について話し合いを続けている。
  - ②評価表の改善
  - ③自習地の確保
  - ④来年度より、阪和第二泉北病院にて、研修センターを用いての実習体制を計画した。  
これにより、4期あった実習期間が3期に短縮できること。そして実習において難航している学生の集中指導が可能となる。

### 3. 入試

- 1) 理学療法学科のアドミッションポリシーをもとに、受け入れ態勢の検討した。
- 2) 受験者数の増大
- 3) AC委員会への積極的な取り組み

### 4. 研究

- 1) 森ノ宮医療大学の理学療法学科として、研究発表を国内外で行った。
- 2) 研修会・講習会への講師派遣
- 3) 森ノ宮医療大学の理学療法学科教員による講習会の実施

### 5. 広報活動

- 1) 高校訪問の実施
- 2) オープンキャンパスの新企画の実施

### 6. FC・SD活動

- 1) 教員の意思統一
- 2) 積極的な参加

### 7. 就職支援活動

- 1) 教員の関係する施設および実習病院などへの学生紹介
- 2) 就職情報の収集

(金尾 顕郎, 河村 廣幸)



## 6. 保健医療学部 看護学科の事項について

### (1) 学科構成

- 1) 平成 23 年度看護学科が開設され、準備室の 3 名（村上生美教授、平川憲子助教、奥川裕子助手）に以下の 13 名の教員が就任し、総勢 16 名の教員でスタートした。  
教授：吉村弥須子氏、佐伯恵子氏、吉川彰二氏、大巻悦子氏  
准教授：伊津美孝子氏、酒井ひろ子氏  
講師：住田陽子氏、来栖清美氏、山田純子氏  
助教：吉川有葵氏、西村千年氏  
助手：上田佳奈氏、佐藤寿哲氏

### (2) 行事（看護学科のみに関するもの）

- 1) 平成 23 年 5 月 14 日（土）  
新生のオリエンテーション旅行を次のように行った。  
神戸フルーツフラワーパークへ行き、屋内で 1 コマの基礎ゼミナールを実施した。
- 2) 平成 23 年 6 月 2 日（木）14：40～  
看護学科開設記念講演会を本学西棟 6F において開催した。  
講師：薄井坦子氏（元宮崎県立大学長）  
テーマ：「看護の本質とこれからの看護」  
\*講演会終了後、新キャンパスの施設見学会、記念パーティーを行った。
- 3) 平成 23 年 6 月 20 日（月）13：00～  
日本看護系大学協議会に加入し、総会（北里大学薬学部）において新加入大学として紹介された（学科長参加）。
- 4) 平成 23 年 7 月 8 日（金）11：00～17：30  
日本私立看護系大学協議会に加入し、総会（アルカディア市ヶ谷）において新加入大学として紹介された（学科長参加）。
- 5) 平成 23 年 9 月 2 日（土）  
日本人間工学会・看護人間工学会 第 19 回看護人間工学会 総会・研究発表会  
本学西棟において、村上生美大会長のもと、看護学科教員 9 名が実行委員となって開催した。

### (3) 教育

- 1) カリキュラムならびにシラバスにもとづいて講義、演習、実習を行った。
- 2) 基礎看護学実習 I（必須科目）は、以下のように実施し、88 名全員が単位を修得することができた。  
期間：平成 23 年 9 月 12 日（月）～9 月 16 日（金）  
場所：住友病院（7 病棟で 58 名）、大阪船員保険病院（3 病棟で 13 名）、  
北野病院（3 病棟で 17 名）。
- 3) 全般的な学生指導にはチューター制を導入し、入学生 88 名を 9～10 名の 9 グループに編成し、講師以上の教員が担当する仕組みを作った。前期必須科目の「基礎ゼミナール」はチューターが担当した。
- 4) チューターは必要に応じて担当学生への対応をしたが、前期の成績が出揃い単位取得状況が明確になった段階で全体講評に続いて個別面接を行った。また後期が終了した時点においても担当学生と面接をしたが、放置すると留年が懸念される 10 名程度の学生について

ては三者面談（学生、父兄、教員（学科長、教務委員、チューター）を実施した。

- 5) 前期に看護学科に国家試験対策委員会を立ち上げ、学生への動機づけ、模擬試験の導入等に関して検討し、平成24年度に本学オリジナル模試をかわきりに4年間の計画を立案し学生へフィードバックした。

(4) 研究

- 1) 看護学科専任教員による研究業績は以下のとおりである。  
 学術論文10編（うち英語2編）  
 著書3編（うち英語0編）  
 学会発表24題（うち英語2題）
- 2) 外部研究費獲得（研究代表者）は次のとおりである。  
 日本学術振興会科学研究費補助金3件  
 JICA1件

(5) 社会貢献・国際交流

(6) その他

- 1) 看護学科開設に当たり学科内で会議や各係、委員会を以下のように設置した。それらについては細則を作成し、細則にしたがって活動、その内容を学科会議でフィードバック、教員間で情報を共有した。  
 学科会議・領域代表者会議・基礎ゼミナール担当者会議・  
 オリエンテーションゼミナール係・カリキュラム委員会（解剖見学実習担当）・  
 臨地実習委員会・国家試験対策委員会・地域連携推進委員会・広報委員会・  
 看護学科開設講演会
- 2) 学科会議は学科の最高決議機関として毎月1回、合計12回開催し、教育、運営、社会活動、研究等に関して審議し、学科の方針を決定した。
- 3) 領域代表者会議は基礎・成人・精神・母性・小児・地域看護学の領域を代表する6名で構成し、原則として月1回、計14回開催、各領域の問題、領域を超える問題等について審議し方針を決定した。
- 4) 臨地実習委員会は7名の委員で構成し、原則として月1回、計11回開催し、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ要項の検討、感染症対策に関する検討、平成24年度の臨地実習要項の作成ならびに平成25年度、26年度の実習計画について再検討を行った。
- 5) 国家試験対策委員会は4名で構成し、近年の国家試験問題、模擬試験の状況、学生の認識等について情報を収集し、本学の国家試験に関する教育的課題を明確にして計画を立案し、学科会議にフィードバックするとともに学生に対する啓蒙を行った。
- 6) 地域連携推進委員会は6名で構成し、「もりもりクラブ」を称して地域における子育て支援を月1回実施した。
- 7) 広報委員会は7名で構成し、オープンキャンパス、高等学校訪問、学外進学相談会その他イベントについて年間計画を立て実施した。
- 8) 看護学科開設記念講演会係は3名で構成し、企画、運営について全教員の協力を得て実施した。
- \*講演会終了後、2名の係で講演会のテープをおこし、以下の冊子を作成した。  
 著者 薄井坦子、発行者 森俊豪、発行所 森ノ宮医療学園出版部  
 「生きているとは・・・看護の本質とこれからの看護」

(村上 生美)

## 7. 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻の事項について

### (1) 研究科構成

- 1)平成 23 年度から開設し、教授 10 名、准教授 3 名、専任講師 3 名、助教 3 名、兼任教授 2 名、兼任講師 2 名、兼任講師（非常勤講師）2 名で構成されている。教授 1 名および兼任講師 2 名以外は、本学保健医療学部教員と併任である。
- 2)平成 23 年度の入学生は 5 名であり、1 名が後期から休学した。

### (2) 行事

4 月 4 日	入学式（保健医療学部入学式と合同）	
9 月 14 日	入学試験第一次募集	応募者 0 名
1 月 16 日	入学試験第二次募集	応募者 0 名
3 月 12 日	入学試験第三次募集	応募者 1 名、合格者 1 名
3 月 7 日	特別研究中間報告会	4 名発表

### (3) 教育

- 1)学部におけるいわゆる担任教員の役目は、特別研究の研究指導教員および研究指導補助教員が担い、勉学・生活ともに個別の相談と指導を行った。
- 2)文部科学省に提出した認可申請書にもとづき授業を実施した。
- 3)大学院生には授業聴講と特別研究の活動以外に、ティーチング・アシスタント (TA) として保健医療学部の授業補助を行わせて、教育者の立場についても経験させた。
- 4)臨床系専門演習は大学附属鍼灸施術所にて、基礎系専門演習は実験室または研究室で実施した。

### (4) 社会貢献・国際交流

- 1)大学院 1 年生のうち 2 名が、ゴールデンウィークを利用して自主的に気仙沼における東日本大震災避難所における鍼灸施術ボランティアを実施した。

### (5) その他

- 1)平成 24 年度学生募集戦略を積極的に行えず、大学院開設の事実の周知と学部卒業者の受験勧誘が十分にできなかった。その結果、応募者 1 名、合格者 1 名という結果となった。

(山下 仁)

## 8. 大学経営企画室の事項について

### (1) 社会連携事業について

平成 23 年度の社会連携事業への取組については以下の通りである。

#### 1) 大阪府咲洲庁舎魅力発信・体感イベント

開催日時：平成 23 年 8 月 19 日（金）10：00～22：00

開催場所：大阪府咲洲庁舎

主催：大阪府、大阪市

本学の出展：4 つのブースで、延べ 344 名の参加があった。

- ①鍼灸学科 「ツボ刺激による『誰でもできるセルフメンテナンス』」（山下, 仲西, 辻丸, 涌田）
- ②理学療法学科 「肺活量測定」と説明（金尾+学生）  
「基礎代謝エネルギー代謝測定」と健康指導（宮本, 中原+学生）
- ③看護学科 「AED・心肺蘇生モデルを用いた救急蘇生体験」（吉川(彰), 吉川(有), 平川, 佐藤+学生）

#### 2) 大阪ヘルスジャンボリー2011

開催日時：平成 23 年 10 月 8 日（土）11：00～16：00

開催場所：大阪城ホール（城見ホール、コンベンションホール）他

主催：大阪市、すきやねん大阪市民運動推進委員会

共催：学校法人追手門学院、学校法人大手前学園大手前栄養学院専門学校

本学の出展：「呼吸循環機能測定体験コーナー」を出展、呼吸循環測定を行って心肺機能についての説明をした。（宮本, 中原, 小島+学生）

#### 3) 2011 咲洲ベイウォーキング

開催日時：平成 23 年 10 月 23 日（日）8：30～14：00

開催場所：咲洲コスモスクエア地区

主催：大阪市港湾局

本学の協力：

- ①「ウォーキング健康講座」9：00～9：40 ウォーキングの前に、本学青木元邦教授が生活習慣病とその要因、ウォーキングが健康に及ぼす影響等についての講義を行った。
- ②「血圧測定」本学看護学科学生が、ウォーキングのスタート会場とゴール会場で血圧の測定を行った。（吉川(有)+学生）
- ③「鍼灸体験」ウォーキング終了後、本学附属施術所での鍼灸体験を行った。（山下, 尾崎, 増山, 辻丸, 松下）

#### 4) 「大阪府立急性期・総合医療センター×相愛大学×森ノ宮医療大学連携シンポジウム『生と死を考える ―やすらぎのがん医療―』」

開催日時：平成 23 年 11 月 5 日（土）13：00～17：00

開催場所：大阪府立急性期・総合医療センター 3F 講堂

本学からの講演：

関連講演「東洋医学の身体観、人間観」保健医療学部教授 坂出 祥伸  
パネルディスカッション「やすらぎのがん医療の実現に向けて―課題と提言」  
パネリスト 保健医療学部鍼灸学科教授 山下 仁

5) 「森ノ宮医療大学×大阪府立急性期・総合医療センター連携シンポジウム  
『大規模災害と救急医療 ―地域との連携による災害対策―』」

開催日時：平成24年1月11日（水）17：00～18：15

開催場所：森ノ宮医療大学 西棟6F

概要：一般の方、本学学生、教職員合わせて、150名の参加があった。

第1部「地域防災と企業・大学の連携」大阪市危機管理質・防災アドバイザー藤居 洋 氏

第2部「災害時の医療 ～能動的な災害医療を行うための方策～」大阪府立急性期・総合医療  
センター院長 吉岡 敏治 氏

6) 大阪府立急性期・総合医療センター開催「ふれあい病院探検隊」

開催日時：平成24年2月5日（日）10：00～16：00

開催場所：大阪府立急性期・総合医療センター

概要：高校1年生・2年生対象（500名）、病院の仕事を疑似体験する参加型イベント

本学の協力：3つのブースで150名の参加があった。（代表 安田）

①「はり・きゅう施術体験」（鍋田, 増山, 涌田, 辻, 小島）

②「資料展示」（広報室）

③「進路相談」（村上, 伊津美, 吉川(有)）

学生スタッフも多数参加し、急性期・総合医療センターに協力した。

7) 相愛大学×相愛大学人間発達研究所×森ノ宮医療大学連携イベント  
「おおさか 食と運動・健康フェスタ」

開催日時：平成24年2月12日（日）10：00～16：00

開催場所：ポートタウンショッピングセンター セントラルコート

本学の出展：「運動負荷テストと呼吸循環機能の評価」コーナーを出展  
体力や呼吸循環機能をチェック（宮本, 中原+学生）

## （2）教職課程認定申請について

平成24年度から鍼灸学科に教職課程（中学校・高等学校教諭一種免許状「保健体育」）を  
設けるため、文部科学省初等中等教育局教職員課に「教職課程認定申請」の書類を提出した。

経緯は以下の表の通りである。これにより、本学鍼灸学科にスポーツ特修コースを設置し、  
中学校一種免許状（保健体育）、高等学校一種免許状（保健体育）の認定を受けた。

平成24年度からスポーツ特修コースの学生が所定の単位を取得することで、中学校一種免  
許状（保健体育）、高等学校一種免許状（保健体育）が得られることになった。また、看護学  
科を卒業し、保健師となったもので、所定の単位を取得したものは、大阪府教育委員会に申請  
することで、養護教諭二種免許状が得られることになった。

経緯	日付	詳細
申請書類提出	平成23年7月5日	文部科学省指定の書式に則って作成した書類を送付した。
修正書類提出①	平成23年9月20日	様式第2号「中・教科に関する科目」「高・教科に関する科目」の書式と内容への指導があった。
修正書類提出②	平成23年10月18日	スポーツ特修コースの「教科に関する科目」を明示するように指導があり、卒業要件がわかる一覧表を提出した。
修正書類提出③	平成23年11月4日	鍼灸学科を通常の課程と教職課程に分けるよう指導が入り、「鍼灸コース」と「スポーツ特修コース」に分け、それに伴い学則を変更し、履修モデルその他付随する一連の書類を変更した。また、様式第8号の「教員養成の理念・構想」についても練り直した。
修正書類提出④	平成23年11月4日	様式第8号「教員養成の理念・構想」について再度指導が入り、練り直した。また、教育課程の領域についても指導が入った科目を移動させる等修正を加えた。新たに「教職履修規程」を加えた。
修正書類提出⑤	平成23年11月18日	新たに「教務規程」、「教務規程別表」を加えた。また、教員の教育研究業績書についての指導が入り、数名分を修正した。
修正書類提出⑥	平成23年11月21日	様式第3号「教員組織」の一部修正
書類差替え 抜刷提出	平成23年11月24日	文部科学省訪問、申請書類の差替えを行い、「抜刷」を提出した。
修正書類提出⑦	平成23年12月9日	「課程認定委員会」から教育課程についての指摘事項があり、結果的に教員の変更、科目名および授業内容の変更等、修正した。
中央教育審議会 答申結果通知	平成24年2月15日	教職員課免許係より、連絡あり。認定「可」。
書類差替え（最終）	平成24年3月13日	文部科学省訪問、申請書類の差替えを行う。教職課程の認定書を交付される。

### （3）学生満足度調査の対応について

以下の手順で平成22年度学生満足度調査に関するWGを開催し、全教員を対象にWGの総括を報告した。

メンバー：青木、森谷、宮本、鍋田、小島

1. WGでのディスカッション
2. 満足度調査のリフレクションペーパーを各教員に依頼
3. リフレクションペーパーをもとにディスカッション
  - ① 「質問1・2・3・4」の回答から考えられる原因・問題点
  - ② 「具体的なコメント」から考えられる原因・問題点
  - ③ 以上の分析結果を踏まえ、今後、どのように業務に反映させようとお考えでしょうか。
4. 「学生満足度調査の結果から見えてくる本学の現状と改善に向けた方策」を作成
5. 総括（平成23年6月2日）

(4) 平成23年度国家試験の結果

本学の鍼灸学科、理学療法学科の国家試験の結果は以下の通りである。

1) 鍼灸学科

はり師 第20回(平成23年度)

大学名	総合			新卒			既卒		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
森ノ宮医療大学	65	53	81.5%	61	51	83.6%	4	2	50.0%
筑波技術大学	15	10	66.7%	12	10	83.3%	3	0	0.0%
関西医療大学	108	50	46.3%	60	47	78.3%	48	3	6.3%
明治国際医療大学	56	34	60.7%	38	29	76.3%	18	5	27.8%
帝京平成大学	119	64	53.8%	84	60	71.4%	35	4	11.4%
鈴鹿医療科学大学	55	25	45.5%	42	24	57.1%	13	1	7.7%
大学平均	418	236	56.5%	297	221	74.4%	121	15	12.4%
専門学校	4223	3227	76.4%	3651	3189	87.3%	572	38	6.6%
特別支援学校	374	188	50.3%						
全国平均	5015	3651	72.8%	4217	3593	85.2%	798	58	7.3%

きゅう師 第20回(平成23年度)

大学名	総合			新卒			既卒		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
筑波技術大学	15	10	66.7%	12	10	83.3%	3	0	0.0%
森ノ宮医療大学	65	48	73.8%	61	47	77.0%	4	1	25.0%
関西医療大学	109	45	41.3%	60	43	71.7%	49	2	4.1%
明治国際医療大学	55	32	58.2%	38	27	71.1%	18	5	27.8%
帝京平成大学	118	58	49.2%	84	56	66.7%	34	2	5.9%
鈴鹿医療科学大学	57	23	40.4%	42	22	52.4%	15	1	6.7%
大学平均	419	216	51.6%	297	205	69.0%	123	11	8.9%
専門学校	4219	3105	73.6%	3651	3079	84.3%	568	26	4.6%
特別支援学校	358	177	49.4%						
全国平均	4996	3498	70.0%	4217	3458	82.0%	779	40	5.1%

## 2) 理学療法学科

## 理学療法士国家試験 第47回(平成23年度)

大学名(近畿圏)	総合			新卒			既卒		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
大阪府立大学	25	25	100.0%	24	24	100.0%	1	1	100.0%
兵庫医療大学	33	33	100.0%	31	31	100.0%	2	2	100.0%
京都大学	15	15	100.0%	14	14	100.0%	1	1	100.0%
神戸大学	24	23	95.8%	21	21	100.0%	3	2	66.7%
姫路獨協大学	52	48	92.3%	41	40	97.6%	11	8	72.7%
神戸学院大学	60	55	91.7%	53	51	96.2%	7	4	57.1%
大阪電気通信大学	35	32	91.4%	23	22	95.7%	12	10	83.3%
畿央大学	74	69	93.2%	67	64	95.5%	7	5	71.4%
佛教大学	42	37	88.1%	34	32	94.1%	8	5	62.5%
甲南女子大学	77	71	92.2%	67	62	92.5%	10	9	90.0%
大阪河崎リハビリテーション大学	51	41	80.4%	38	34	89.5%	13	7	53.8%
藍野大学	81	71	87.7%	77	67	87.0%	4	4	100.0%
関西医療大学	58	47	81.0%	44	35	79.5%	14	12	85.7%
四條畷学園大学	44	35	79.5%	38	29	76.3%	6	6	100.0%
森ノ宮医療大学	76	59	77.6%	59	43	72.9%	17	16	94.1%
大学平均	3668	3371	91.9%	3218	3017	93.8%	450	354	78.7%
専門学校平均	8288	6479	78.2%	6159	5217	84.7%	2129	1262	59.3%
全国平均	11956	9850	82.4%	9377	8234	87.8%	2579	1616	62.7%

(小島 賢久)



## 9. 教務室の事項について

### 1) 履修登録について

(1) 学務システムでの履修登録について

平成 23 年度より学生数の増加や学年進行制が廃止されたことから、学生支援システム GAKUEN 及び UNIVERSAL PASSPORT (以下、総称して「学務システム」という) より履修登録を行った。学務システムには先修条件や卒業要件の登録を行い、履修登録時に誤った入力をした学生にはエラー表示が出されるなど誤入力防止に努め、学生の履修状況の管理を一括して行った。

また、平成 23 年度は看護学科の開設ならびに鍼灸学科、理学療法学科にて新カリキュラムを導入し運営を開始した。平成 22 年度以前に入学した学生については、留年等により新カリキュラムと旧カリキュラムを併用することがあるため、学生が混乱しないようにオリエンテーションでの説明を行い、さらに該当学生には個別対応することにより学生へのフォローを行った。

(2) 履修登録説明会の実施について

開催日時	対象	参加人数	内容
4月 8日 (金) 17:50~	本学学生	32名	履修登録方法や学生便覧の履修に関わる事項についての説明
4月 11日 (月) 17:50~		15名	

(3) 既修得単位認定申請状況について

所属学科	申請者数	申請単位数	認定者単位数
鍼灸学科	1名	3単位	3単位

既修得単位認定の募集を行い、鍼灸学科の学生 1 名より 3 科目 (3 単位) の申請があり、認定された。

(4) 編入学生入学状況について

所属学科	編入学した学年	編入学生数
—	—	0名

### 2) 学務システムの運用について

平成 23 年度についても引き続き学務システムにおいて、学生の出席や休講補講、成績、学籍情報等の授業運営に必要な情報や個人情報の管理を行った。

(1) 学務システム説明会の実施

教員や学生に対して、以下のとおり学務システム説明会を実施した。

対象	開催日時	人数	内容
新入教職員	4月 1日 (金) 13:00~	30名	ログイン方法や出欠入力システムの操作方法、採点入力システムの操作方法の説明
本学学生	各学年のオリエンテーション時	—	ログイン方法や時間割の確認方法、シラバス閲覧方法、出欠状況の確認方法、成績照会方法、履修登録方法
兼任講師	兼任講師の来学時に随時実施	—	学務システムへのログイン方法や出欠入力システムの操作方法、採点入力システムの操作方法の説明

### 3) 授業運営について

授業運営が円滑に行われるよう、授業運営支援業務として次のとおり実施した。

#### (1) 出席の取り扱いについて

平成22年度に引き続き、各担当教員が講義後に学務システム上に出欠入力をする  
ことで、学生が自身の出席状況を即座に確認できるよう徹底した。また、平成22年  
度までは2学科合同授業など履修者数の多い授業に限っては、教職員が授業開始時  
に出欠用マークシートを配布し学生へ記入させ、授業終了間際に回収する方法で出  
欠管理を行っていた。しかし、学生証のICカード化と看護学科の学生が80名を超  
えることから、平成23年度より授業時にICカード読み取り機で出欠管理を行い学  
務システムへ登録することで出欠管理を円滑に行った。

#### (2) 休講、補講について

これまでは先に休講日の掲示を行うことが多く、補講日については後日掲示により  
連絡していたが、休講・補講が頻繁に起こることに対して学生よりクレームが生じ  
た為、学長通達により休講・補講の原則禁止とレポート提出にて1回の授業を実施  
したこととする方法については原則廃止とした。また、休講・補講の情報を記録す  
るために教務室へ申請書を提出することとした。

#### (3) 兼任講師の不在時の学生対応について

平成23年度より、兼任講師担当授業については、課題提出および課題配布専用の  
メールボックスを設置することにより、兼任講師不在時でも学生への課題配布や課  
題提出を可能とし、紛失等のリスクも軽減する策を講じた。

#### (4) 教室利用について

平成23年度より教室を固定せず、各時間移動形式に変更した結果、教室をきれい  
に保つことができた。また、昨年度に引き続き、空き教室の学生への開放について  
は施設使用願の提出を義務付けることで、卒業研究等を申し出る学生への開放を行  
った。授業に関わる教室の管理についても学園内グループウェア上(Hot Biz)に  
おいて教室の予約状況・使用状況を管理した。

#### (5) 授業用の物品について

教科書販売に関しては、昨年度に引き続き提携業者と連携し、円滑に販売が行える  
よう支援を行った。また、これまでは各教室のマイクについては東棟1階の事務室  
にて管理していたが、平成23年度からは各教室に設置し教員の授業開始までの準備  
時間を短縮した。

#### (6) 授業アンケートの実施について

平成22年度までは全科目を対象に授業アンケートを実施していたが、学生のアン  
ケート疲れ等により回答の精度が落ちていることや、情報公開のスピード化と業務  
効率化を図ることを目的として、授業アンケート主管委員会の自己点検・評価・FD  
委員会の要請によりアンケート対象科目数を各学科学年の3分の1ずつとし、3年  
間で全ての授業を網羅する仕組みで実施することとした。また、平成22年度より授  
業アンケート集計業務を外注していることもあり、迅速な情報公開が可能となった。  
なお、アンケート結果およびリフレクション・ペーパーの内容については、取りま  
とめて自己点検・評価・FD委員会へ提出し、学生に対しては、授業評価の内容とリ  
フレクション・ペーパーの内容をまとめて、学内掲示板に掲示することにより情報  
公開を行った。また、アンケート結果は以下のとおりである。

① 授業アンケート質問内容について

・授業の運営について

- 問1 授業の開始・終了時間を守っていましたか
- 問2 授業の内容はよくわかりましたか
- 問3 シラバスにそった授業でありましたか
- 問4 教科書・教材は適切に使用して授業がおこなわれていましたか

・教員について

- 問5 担当教員の熱意を感じましたか
- 問6 学生の提出課題や質問等に適切に対応していましたか
- 問7 板書や映像等見やすく、話し方も聞き取りやすかったですか

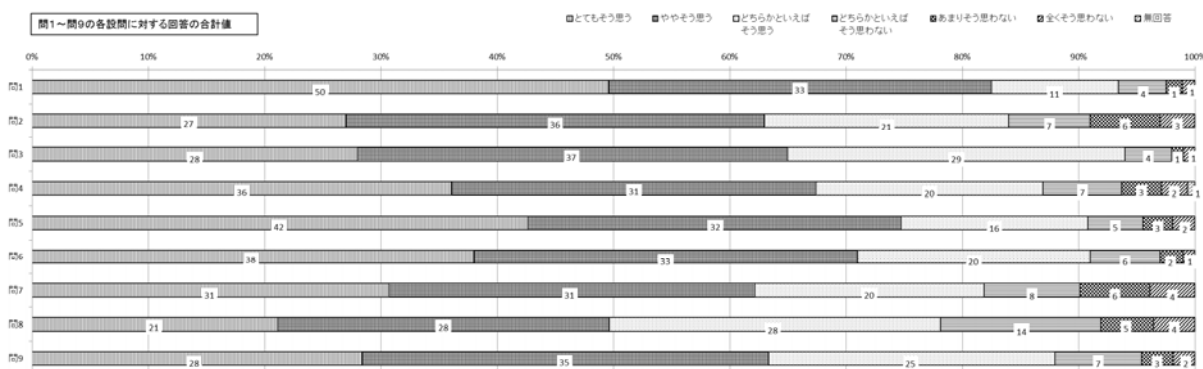
・自らの履修態度について

- 問8 わからないことは、質問したり、自分で調べましたか
- 問9 自らが熱意をもって授業に臨みましたか

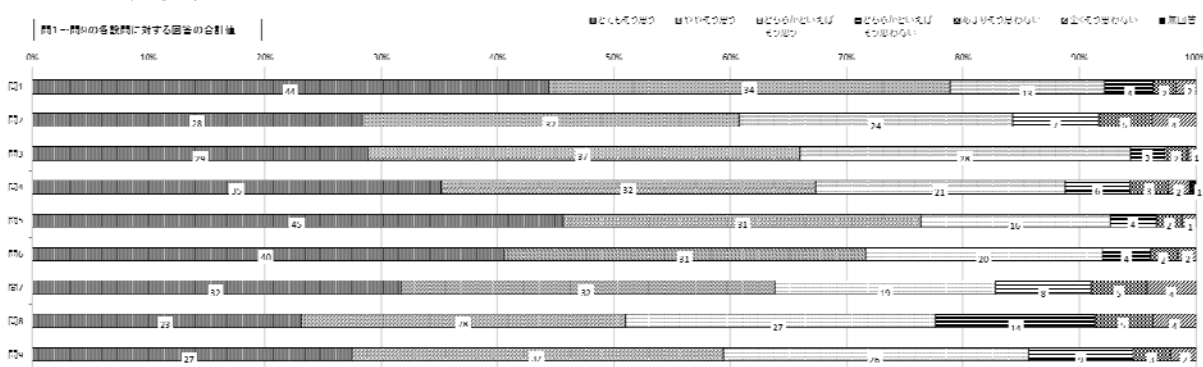
※回収アンケート数 前期 2,229 件、後期 1,902 件

② 平成23年度 授業アンケート結果について

i) 前期



ii) 後期



アンケート結果によると、各設問に対して約 8～9 割以上の学生が肯定的な回答を行っている。しかしながら、問8の「わからないことは、質問したり、自分で調べましたか」の問いについては肯定意見が 8 割を切っている。また、自由意見記入欄の「改善してほしい点」によると、授業の進め方・話し方、板書、授業環境などにおいて、いくつか否定的な意見が伺えた。なお、この結果を受けて教員のリフレクション・ペーパーからは、学生の要望を受け入れるなど改善に前向きであった。今後も学生の授業満足度向上の為に、授業アンケートを継続して行い、教員と学生双方にとってよりよい授業運営となるよう情報収集・情報提供を継続したい。

#### 4) 成績関連業務について

学科試験から成績管理、成績発表に関わる業務を下記のとおり実施した。

##### (1) 定期試験受験資格について

定期試験受験資格の有無については、学生に学務システム上にて出席状況の確認を行うよう周知徹底し、同時に担当教員および担任へも注意喚起を行った。また、担当教員が入力した出席状況をもとに集計を行い、誤りのないよう受験資格の有無の判断を行った。

##### (2) 学科試験の運用について

###### ① 試験実施日および試験時間について

平成23年度より試験実施時間についても原則通常の授業時間に準ずることとし、授業時間と同じ時間帯に試験を実施した。16週目を筆記試験期間、17週目を実技試験期間として行ったが、教務室にて一部スケジュールを調整しスムーズな試験運営を図った。また、平成23年度より大学指定試験期間外であっても、教務室が指定した期日までに申し出ることによって試験を実施できることとなった。

###### ② 理学療法学科3年生の試験スケジュールについて

理学療法学科3年生については追再試験期間中に臨床評価実習を実施する為、追再試験を実施することが困難であった。これに伴いあらかじめ試験日を早め、臨床評価実習開始日までに追再試験を実施する策を講じた。

###### ③ 通年科目について

半期終了後に定期試験は行わず、通年を通しての定期試験を1回行うことを徹底し、半期終了後に試験を実施する場合は臨時試験として扱い、成績の管理等は各授業担当者でお願いした。

###### ④ 試験問題について

これまで兼任講師が作成した試験問題については教務室で準備しているが、平成23年度よりこれまで本学書式にて統一してきた試験問題の作成を本学書式は提供するが兼任講師の任意により書式を決めて頂くよう改善を行った。

また、平成22年度までは試験問題提出については常勤者の場合、問題を封筒へ封入し指定期日までに教務室へ提出することとしていたが、教務室が指定した期日では試験日まで早過ぎるなどの意見があり、平成23年度より期日までに試験問題を提出しない場合は、担当者が責任をもって試験日当日に試験会場へ持参する方法で実施し試験運営に支障を来すことなく実施した。

###### ⑤ 試験監督について

平成23年度より原則として常勤者は科目担当者のみで実施し、兼任講師については1名の試験監督者を配置することとした。ただし、常勤者であっても教室などの理由により別途試験監督が必要な場合には学科の判断により配置した。

###### ⑥ 試験時のカンニング防止について

試験の際に1科目(1クラス)を1教室で実施できるよう机に取り付けるカンニング防止用のパーテーションを追加購入し、利用することにより試験教室数を確保できた。

###### ⑦ 試験座席表について

定期試験時の座席表について、平成23年度入学者より未修得の科目はすべて再履修となることから、これまでの各試験教室に各学年の座席表を貼付する方法では授業科目ごとに座席表を作成する必要が出てくる。そのため、定期試験の座席表を廃止し、担当者が受験者名簿と学生証で試験出席を確認することとし、業

務の効率化を図った。ただし、追・再試験については1教室で複数科目の試験を実施するため、従来通り座席表を作成し各教室に貼付する方法で実施した。

- (3) 単位未修得科目試験について  
平成22年度入学生までが対象となる単位未修得科目試験についてはこれまで通り実施した。
- (4) 追再試験受験申込みについて  
学生へ定期試験結果を配布後、不合格者および欠席者に対して追再試験を実施するため、追再試験受験申込みを行った。昨年度に引き続き、学生はあらかじめ券売機で受験科目数分の金額証紙を購入し、所定の申込書に貼付して申込みを行った。そのことにより、学生との現金授受を行わず、申込み手続きが可能となった。また、学生一人当たりに対応する時間も短縮することができた。
- (5) 成績について  
昨年度に引き続き、学務システム上にて担当教員により直接、成績入力を行った。また、学生や保護者・保証人に対しての前期最終成績発表および学年末成績発表については平成23年度入学生より全て学務システム上のみで行うこととし、成績発表当日に学生や保護者・保証人が成績を閲覧することが可能となるだけでなく、郵送に関わる成績通知書の誤封入及び業務時間の大幅な削減にもつながった。
- (6) GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度について  
昨年度に引き続き、GPA制度により算出した評価をもとに優秀者に対して表彰を行った。今後においても、奨学金の選考や表彰等で活用していきたい。

## 5) 資格取得支援業務について

資格支援に関する業務を下記のとおり実施した。

- (1) アロマコーディネーターについて  
昨年度に引き続き、森ノ宮医療学園専門学校で行われているアロマコーディネーター資格取得講座につき、学内への案内や申込手続きなどの業務を支援した。
- (2) スポーツリーダーについて  
昨年度までに引き続き、スポーツリーダー資格取得に関する履修指導やスポーツリーダー資格取得講座の開講に関する業務を行った。また、卒業生に対しスポーツリーダー資格取得に関する事務手続きを滞りなく行い、卒業式に該当する学生へスポーツリーダー修了証明書および認定証を配布した。

### ① スポーツリーダー資格取得講座の開講

開講講座	開講時限数	受講人数
健康管理（平成22年度入学生のみ対象）	4時限	13名
スポーツ経営学	6時限	59名

### ② 平成23年度スポーツリーダー資格取得人数

所属学科	平成23年度スポーツリーダー資格取得人数
鍼灸学科	8名
理学療法学科	9名

(3) 健康食品管理士について

今年度より健康食品管理士認定講座の開講に関する業務及び資格取得に関する業務を行った。

① 健康食品管理士講座説明会実施

開講日時	対象	参加人数	内容
6月29日(木) 16:20~17:30	鍼灸学科、理学療法学科3・4年生	25名	受講概要の説明 質疑応答
7月6日(水) 16:20~17:30		16名	
8月2日(火) 17:00~17:40	理学療法学科4年生	5名	

② 健康食品管理士認定講座の開講

開講日	開講時限数	受講人数
9月16日(金)	4時限	31名
9月22日(木)	4時限	

③ 平成23年度健康食品管理士受験者数及び資格取得人数

所属学科	受験者数	合格者数
鍼灸学科	13名	8名
理学療法学科	13名	7名

(4) はり師、きゅう師および理学療法士国家試験について

国家試験に関わる事務手続きについて、鍼灸学科および理学療法学科と協力し滞りなく行った。

6) 講師関連業務について

(1) 兼任講師対応について

初回講義日に各兼任講師に対してオリエンテーションを実施し、授業運営を円滑に行えるようにした。

(2) 平成24年度講義依頼について

平成24年度授業開講準備として、各授業科目の担当教員に書類(講義時間希望調査書、兼任講師台帳等)作成の依頼をし、滞りなく業務を行った。また、シラバスについては学務システム上への入力を依頼した。新規兼任講師については本学所定の書類(教員個人調書等)の作成を依頼し管理を行った。

(3) 兼任講師出勤簿について

平成23年度より非常勤講師の出勤簿を個人毎のファイルで管理し、担当時限にマーク・サインをする形式で管理した。

7) 会議体の運営について

教務室が運営支援担当となっている教務委員会について、日程調整や書類の取りまとめなど滞りなく実施した。

8) 森ノ宮医療大学教務規程について

平成24年度より鍼灸学科スポーツ特修コースの増設に伴い、教務に関する規程の整備を行った。なお、この規程については平成24年4月1日より施行されることとなった。

(在川 洋平)

## 10. 学生支援室の事項について

### 1. 奨学金について

- 1) 日本学生支援機構奨学金制度の積極的な活用について (単位: 件)

平成 23 年度	予約採用 (新規)	定期採用 (新規)	臨時採用	緊急・応急採用	合計
第 1 種	19 ( 4)	33 (12)	2	1	55
第 2 種	200 (95)	78 (19)	9	4	291
合計	219 (99)	111 (31)	11	5	346

平成 23 年度の貸与者総数は 328 名 346 件 (第一種、第二種の併用貸与者数は 18 名) である。

- 2) その他の奨学金

	採用
交通遺児育英会	0 名
あしなが育英会	1 名
在日朝鮮人学生奨学金	0 名
在日韓国奨学会	1 名
地方団体奨学金	0 名
合計	2 名

- 3) 概況報告

〈日本学生支援機構〉

- (1) 平成 23 年度は新規予約採用者第 1 種 4 名、第 2 種 95 名に対し、定期採用が第 1 種 12 名、第 2 種 19 名と予約採用の方が定期採用者を上回った。これは、高校での予約採用制度活用の推進が図られているからと考えられる。

- (2) 平成 23 年度初めに内示される定期採用推薦内示数は、大学第 1 種 11 名、第 2 種 14 名であった。大学定期採用申請者数が第 1 種 12 名、第 2 種 23 名と内示数より上回ったため、日本学生支援機構推薦方針により 1 年生を優先し割り当てることとなった。採用枠から外れた学生に関しては追加採用候補者として申請した。

また、今年度より大学院が開設されたことから、大学院定期採用推薦内示数は、第 1 種 1 名、第 2 種 1 名が本学に割り当てられた。大学院定期採用申請者数が第 1 種 2 名、第 2 種 2 名と内示数より上回ったため、奨学金規定に基づき厳選な審査を行った結果、第 1 種 1 名、第 2 種 1 名が承認された。採用枠から外れた学生に関しては追加採用候補者として申請した。

追加採用では大学推薦内示数が第 1 種 1 名、第 2 種 5 名、大学院推薦内示数が第 1 種 1 名、第 2 種 1 名であった。大学追加採用申請者数が第 1 種 3 名、第 2 種 9 名、大学院は追加採用内示数に対し各 1 名の応募があり、奨学金規定に基づき厳選な審査を行った結果、大学は第 1 種 1 名、第 2 種 5 名が承認され、大学院は 1 名が承認された。

大学追加採用枠から外れた第 1 種 2 名、第 2 種 4 名の学生に関しては臨時採用に推薦した。内示数は、第 1 種 4 名、第 2 種 9 名に対して、追加採用枠から外れた第 1 種 2 名、第 2 種 4 名および新たに 5 名が第 2 種で申請があったため、第 1 種 2 名、第 2 種 9 名の応募者全員が承認された。

- (3) 新入生採用者の割合は65.4%、1年生214人中140名であった。
- (4) 継続申請に関して、必須科目未修得者（1科目でも）に対する警告指導をした者44名（16%）、進級不可のため廃止となった者7名、退学者5名、辞退者5名であった。よって平成23年度の日本学生支援機構の継続奨学生数は合計265名となった。（平成24年3月31日現在）

〈その他の奨学金〉

あしなが育英会奨学金4年生1名、在日韓国奨学会4年生1名である。

〈全体〉

平成23年3月31日現在の全在学生数は587名であり、そのうち328名が日本学生支援機構奨学金を貸与している。うち、第1種と第2種の併用者は18名である。

その他の奨学金については、あしなが育英会奨学金1名、在日韓国奨学会1名が奨学金を貸与している。平成23年度の本学における奨学金貸与者の学生数割合は全学生の約6割を占めている。

## 2. 福利厚生

### 1) 学生食堂の運営について

学生食堂棟 Medi CAFE（メディカフェ）は運営2年目となり、初めての試みとして運営に関する学生側の意見聴取を目的として、アンケートを実施した。多くの学生より、満足しているという肯定的な意見が聞かれた。反面、メニューや価格に対する要望意見も多く、引き続き改善に努めたい。

### 2) 売店の設置ならびに運営について

学生より要望のあった大学内の売店設置について、株式会社三省堂書店と売店契約を締結し、平成24年3月26日より大学内に売店を設置した。売店には教科書をはじめ、雑誌、文具、食料品、実技道具など学生生活を送るうえで必要な物を取りそろえ、販売価格を市場価格より安価に設定するなど学生の為の売店運営を心がけている。株式会社三省堂書店と協力しながら今後の学生満足度の向上につながるよう状況を見守りたい。

#### (1) 売店概要

場所：森ノ宮医療大学 西棟2階（ラウンジ跡）

店員数：2名体制

営業日：月曜日～金曜日

定休日：土・日・祝他（大学学事日程に準ずる）

営業時間：10:00～16:30

取扱品目：教科書、雑誌、書籍、実技道具、文具、食料品、飲料品等

## 3. 社会貢献

### 1) 日本赤十字社主催 団体献血の実施について

社会貢献、地域貢献活動の一環として、また医療人として献血運動の推進に取り組むため、団体献血を以下の通り実施し、多くの学生、教職員の皆様に協力していただいた。日本赤十字社からも感謝の儀をいただき、社会貢献の一環として有意義なものとなった。献血への理解を深め、今後も継続して積極的に献血推進に取り組んでいきたい。



	平成23年10月4日	平成24年1月24日
受付数（人）	45	84
採血数（人）	29	54

#### 4. 情報提供

##### 1) 情報提供の充実について

平成23年度も学内外に、迅速かつ多くの情報提供ができるようホームページの充実に取り組んだ。今後もわかりやすく、迅速に情報発信を行いたい。

#### 5. 情報収集

##### 1) 学生満足度調査の実施について

平成23年11月から12月にかけて本学在校生に対し、満足度調査を実施した。概要報告は以下の通りである。

##### (1) 学生回答数

学科名	内容	1年	2年	3年	4年
鍼灸学科	在籍者数（人）	57	49	56	69
	回答者数（人）	48	32	49	62
	回答率	84.2%	65.3%	87.5%	89.9%
理学療法学科	在籍者数（人）	69	67	70	63
	回答者数（人）	67	58	60	45
	回答率	97.1%	86.6%	85.7%	71.4%
看護学科	在籍者数（人）	88	—	—	—
	回答者数（人）	79	—	—	—
	回答率	89.8%	—	—	—

##### (2) 調査概要

全学生を対象に大学生活全般に係る満足度調査と大学への要望や意見などを記述式で回答させる方法にて実施した。

##### (3) 調査総括

平成23年度も大学運営に関する学生側の意見聴取を目的として、調査を実施した。多くの学生より、教員とのコミュニケーションや距離感に関して親近感があり満足しているという肯定的な意見が昨年度に続き多く聞かれた。反面、施設・設備については自習スペースやフリースペースの増設を求める意見が多く、食堂棟2階や大教室の開放等取組みが可能な課題に対して改善策を講じた。学校運営側からの見解だけでなく、学生からの声を引き続き拾い上げ、学生と共に良い大学造りを目指したい。

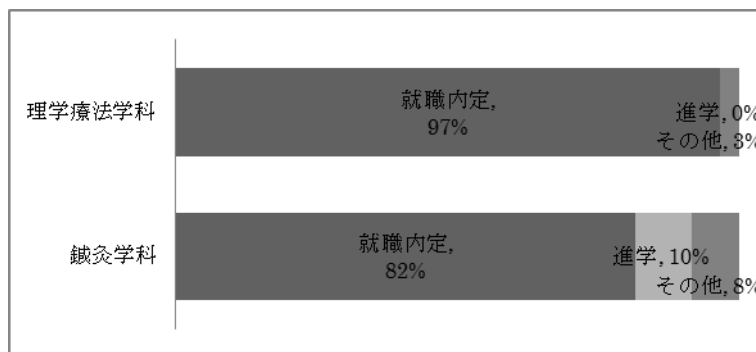
## 6. 森ノ宮医療大学キャリア支援事業について

### 1) 卒業生の進路状況について

#### (1) 進路状況について（平成24年3月31日現在）

平成23年度、就職内定および進学等、進路が決定した学生は理学療法学科で97%、鍼灸学科においては92%となった。理学療法学科のその他3%と鍼灸学科のその他8%については、進路未決定また自己都合により就職を見送ったものが含まれている。

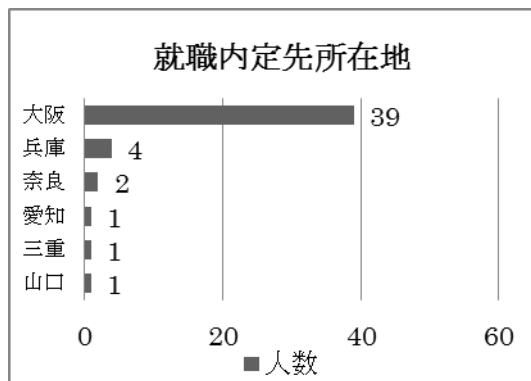
※平成23年度卒業生の学科別進路状況



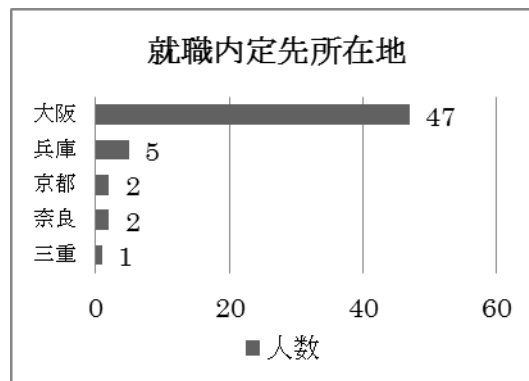
#### (2) 就職内定先の地域について

就職内定先の地域については、鍼灸学科、理学療法学科とも大阪で就職を決めた学生が大半であった。しかしながら、奈良県や京都府、滋賀県の出身者に対して希望に見合う求人情報を提供できなかった可能性もあり、平成24年度の求人情報収集の際には最優先課題として学生の要望に応じた求人情報収集に努めたい。

※鍼灸学科就職内定先所在地一覧



※理学療法学科就職内定先所在地一覧



### 2) 求人情報収集について

平成23年度、下記の通り求人情報の収集を行った。

#### (1) 求人情報の収集方法について

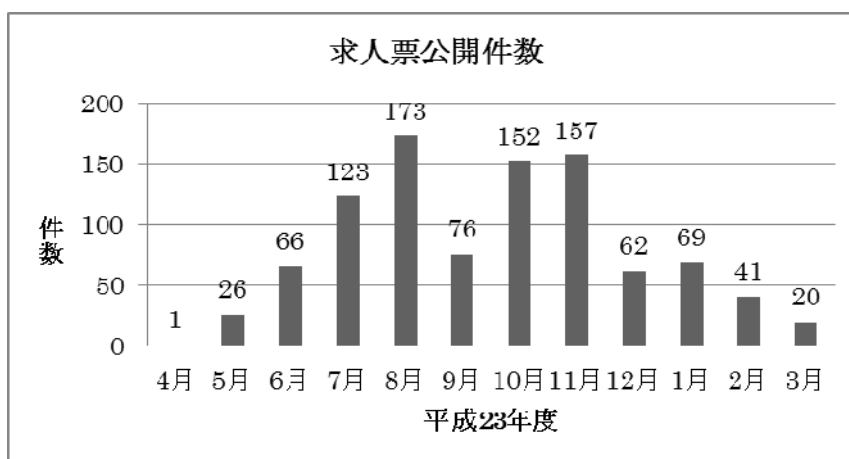
本学において保有する名簿を活用し、合計13,428通（合計3回）の求人依頼のダイレクトメールを発送し、次の通り成果を得た。

収集方法	採用対象	実施時期	送付対象	返信数
ダイレクトメール発送 (2学科5,946通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成23年 7月中旬	近畿2府4県にある医療施設	200件
ダイレクトメール発送 (2学科6,385通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成23年 8月下旬	近畿2府4県にある医療施設	250件
ダイレクトメール発送 (1学科1,095通)	鍼灸学科	平成23年 11月下旬	大阪府下にある医療施設	142件

(2) 求人票公開件数について（平成23年3月31日現在）

平成23年度卒業予定者に対する求人情報に関し、以下の通り求人情報を公開した。公開方法は、本学学務システムの企業求人検索で公開のほか、本学1階の就職用掲示板への掲示および学生相談室の求人票ファイルで、希望学生に対し貸し出しを行った。

※月別求人票公開件数



(3) 職種別求人件数について

本学宛に送付されてきた求人職種別件数は以下のとおりである。はり師、きゅう師、理学療法士に加えて介護士、作業療法士、柔道整復師などの医療系資格が必要な求人や大学生卒業者を対象とする事務職、営業・販売職など多彩な求人情報が本学に寄せられた。

※職種別求人件数一覧

職種	件数
理学療法士	547
はり師・きゅう師	142
その他の保健医療従事者	228
看護師	43
保健師	1
事務従事者	2
販売従事者	1
その他	2
総計	966

(4) 有効求人倍率について（平成23年3月31日現在）

本学に寄せられた各学科への求人数と求職者数より算出した学科別の求人倍率は全国の大学卒業予定者向けの平均求人倍率を大きく上回る結果となった。

	鍼灸学科	理学療法学科
求人件数 (件)	140	542
求職者数 (人数)	50	57
求人倍率 (倍)	2.8	9.5

※参考数値 平成23年度大学卒業予定者の求人倍率全国平均1.23倍  
(リクルートワークス社調べ)

3) キャリア支援セミナーの実施について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、在校生のキャリア支援の一環として医療現場の専門家によるセミナーを以下のとおり実施した。

セミナー名称	実施日時	参加者数	協力団体	講演会概要
最も多かったスポーツ障害とその対応方法について	平成23年 5月26日	学生 3名	教育後援会	全学生を対象に、元サンフレッチェ広島トレーナー 現龍谷大学アスレティックトレーナーである竹田亘先生をお招きして、最も多かったスポーツ傷害とその対応方法についてテーピング実技を交えた講演があった。
求職者への望み～付加価値のある人材～	平成23年 8月5日	学生 20名	教育後援会	全学生を対象に、理学療法士、はり師・きゅう師有資格者の南大阪病院 リハビリテーション科 科長である山川智之先生をお招きして、これからの医療を支える「理学療法士」「鍼灸師」の未来展望をテーマにした講演があった。
アスレティックトレーナーを熱く語る	平成23年 10月31日	学生 8名	教育後援会	全学生を対象に、日本プロバスケットボールbjリーグ京都ハンナリーズ トレーナー兼マネージャー兼通訳 アスレティックトレーナー 菊地紀子先生をお招きして、アスレティックトレーナーになるための必要な知識や実体験についての講演があった。
急性期病棟の実態を熱く語る	平成24年 2月22日	学生 74名	教育後援会	全学生を対象に、住友病院 老人看護専門看護師である中筋美子先生をお招きして、急性期病棟の現場の実態やチーム医療をテーマにした講演があった。

4) 就職ガイダンスの開催について

学生支援室において、就職に必要な知識技術の習得を目的とした就職ガイダンスを以下のとおり実施した。

セミナー名称	実施日時	参加者数	ガイダンス概要
第1回就職ガイダンス	平成23年 4月6日	鍼灸学科 69名 理学療法 学科63名	4年生全員を対象に就職活動の基本に関し、学生支援室員によるセミナーを開催した。就職活動テキストを基に書類作成や面接時のマナーなど就職活動で必要な知識等の解説を行った。
第2回就職ガイダンス 『就活マナー実践講座』	①平成23年 4月19日 ②平成23年 4月20日	①0名 ②3名	4年生の希望者を対象に、学生支援室員による就職活動に必要なマナーに関する講座を開催した。就職に必要なマナーや身だしなみ、言葉遣い、電話の受け答えなどの知識習得を行った。
第3回就職ガイダンス 『履歴書の書き方講座』	①平成23年 5月17日 ②平成23年 5月25日	①3名 ②3名	4年生の希望者を対象に、学生支援室員による履歴書の書き方講座を実施した。自己分析を行い、分析結果を基に自己PR、志望動機、学修成果、大学生活などに関する記載事項の整理を行った。
第4回就職ガイダンス 『模擬面接講座』	①平成23年 5月31日 ②平成23年 6月1日	0名	実施予定であったが、参加申込が無かったため未開講とした。
第5回就職ガイダンス 『就活マナー実践講座』	①平成23年 6月7日 ②平成23年 6月8日	①5名 ②0名	第2回の未受講者を対象に実施した。
第6回就職ガイダンス 『履歴書の書き方講座』	①平成23年 6月22日 ②平成23年 7月12日 ③平成23年 7月12日	①3名 ②0名 ③0名	第3回の未受講者を対象に実施した。
第7回就職ガイダンス 『就活マナー実践講座』	①平成23年 7月11日 ②平成23年 7月12日	0名	実施予定であったが、参加申込が無かったため未開講とした。
第8回就職ガイダンス 『模擬面接講座』	①平成23年 7月19日 ②平成23年 7月20日	①1名 ②0名	希望者を対象に、学生支援室員による模擬面接を行った。学生が作成した履歴書を基に本番さながらの本格的な面接指導を行った。面接後、学生とともに面接を振り返り、反省材料を抽出し改善策の立案を行った。
第9回就職ガイダンス 『履歴書の書き方講座』	①平成23年 7月22日 ②平成23年 7月25日	①3名 ②0名	第3回および第6回の未受講者を対象に実施した。
第10回就職ガイダンス 『面接と履歴書での自己PR』	平成23年 10月6日	5名	キャリアコンサルタントを講師とし、履歴書の書き方講座や模擬面接など実践的な内容の講義が行われた。
第11回就職ガイダンス 『12月18日(日)学内就職説明会活用術』	①平成23年 12月12日 ②平成23年 12月18日	93名	キャリアコンサルタントを講師とし、大学内で開催される学内就職説明会の活用方法に関するガイダンスを実施した。ブース訪問時の注意事項や身だしなみ、ブース訪問後のアプローチ方法など実践的な内容の講義が行われた。

5) 学生支援室による進路に関する個別指導について

学生支援室において、求人医療施設に関する質問や就職に関する書類作成および面接指導ならびに進学相談などを実施した。

学科	学年	相談者延べ人数
鍼灸学科	4	100名
理学療法学科	4	120名

6) キャリアカウンセリングの導入について

文部科学省学生支援プログラムBを活用し、平成23年6月より平成24年3月までの間、キャリアカウンセラーによる就職相談を実施した。

学科	学年	相談人数	相談件数
鍼灸学科	4	33人	129件
	3	3人	14件
	2	1人	3件
理学療法学科	4	6人	21件

7) 学内就職説明会の開催について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、本学に求人情報をご提供いただいている医療施設を本学講堂にお招きし、学生と求人先との情報交換を目的とした学内就職説明会を開催した。

開催回数	日時	求人学科	来学医療施設数	来場学生数
第1回	平成23年 10月2日	鍼灸学科	14施設	79名
		理学療法学科	32施設	
		大学院生募集	1施設	
第2回	平成23年 12月18日	鍼灸学科	20施設	83名
		理学療法学科	19施設	

8) 就職活動ツール

4年生に対し、就職活動に必要な知識や技術（ビジネスマナー、履歴書の書き方、労働法規等）を記載した就職活動テキストを作成し、配布した。また、当テキストを就職ガイダンスや個別指導の際に持参を義務付け、学生の就職指導の際に活用した。

9) 進路支援事業総括

本学の進路支援事業の方針に則り、各学科の就職指導に対し、学生支援室が後方支援を行う体制をとり、臨床現場の情報を豊富に有する教員とビジネスマナーなどの指導ツールや就職情報収集ツール、就職情報提供ツールを有する学生支援室およびそれを取りまとめる学生支援委員会と連携し、教授会において承認を得たうえで進路支援事業を実施した。

就職・進学情報の収集に関しては、学生支援委員会において方法論を検討し、平成22年度の就職情報を基に学科教員からの情報提供を追加し、学生支援室にて医療施設の訪問及びダイレクトメールによる求人情報の収集を実施した。

また、森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て大学内において医療施設を招き、学内就職説明会を実施し、平成22年度より多くの施設に参加頂いた。求人件数および求人倍率の数値に関しては昨年と差のない数字ではあるが、就職情報の地域性や職種による情

報数の開きが改善できず、情報収集方法にさらなる強化が必要である。次年度は、学生の志望地域や志望業種に沿えるよう改善をしたい。

学生への就職指導については教育後援会などの協力ならびに文部科学省の学生支援プログラムなどもあり、金銭的な支援を受けることができたことから、医療現場で活躍されている方々の講演やキャリアコンサルタントによる講演会など学内だけでなく、学外からの様々な情報を学生に提供することができ、学生のキャリア形成に寄与できたと考える。次年度からは、文部科学省の学生支援プログラムが終了するため、自学で新たに採用したキャリアカウンセラーと学生支援室で引き続き進路支援を強化していきたい。

## 7. 学生相談

大阪府ふるさと雇用再生基金事業『大学生ひきこもりアプローチ事業（大学連携型ニート予防事業）』として、大阪府によるニート予防対策基金事業を活用し、平成23年5月より平成24年3月までの間、心理カウンセラーによる学生相談を実施した。平成23年度10月より東棟1階に学生相談室を設置した事により学生への利便性の向上につながり、利用頻度も向上した。

学科	相談人数	相談件数
鍼灸学科	10人	26件
看護学科	1人	2件

## 8. 大学関係諸団体との連携

### 1) 学生会

平成23年度は、部活動や大学祭の他、南校地に時計、食堂棟2階に電子レンジの設置を行ない施設の充実化をはかった。大学祭は例年通り11月に実施したが、第5回目を迎え看護学科が増えたことで模擬店の数が増加するなど例年以上に充実したイベントになった。また、施設・設備に関する改善については引き続き学生会と連携しながら、可能な限り学生の要望に応えたい。

### 2) 教育後援会

大学と保護者との連携を密にして情報収集および会員相互の親睦を図ることを目的とし、教育後援会総会の第1回目を平成23年11月5日（土）および第2回目を平成24年3月10日（土）の計2回開催した。第1回目は保護者、役員、教職員を合わせて92名、第2回目は63名の方々が出席された。教育後援会総会では大学の動向に関する情報提供や教育後援会の事業報告、予算審議等活発な議論が行われた。また、総会後には学科別の説明会や学科教員と保護者の個別面談会なども行われ有意義な会となった。

## 9. 平成23年度学生支援室行事報告

### 1) 鍼灸学科4年生 第1回就職ガイダンス

実施日時：平成23年4月6日（水）10：40～12：20

場所：森ノ宮医療大学 321教室

参加人数：学生69名、職員1名

概況：本学の就職活動テキストに沿って就職試験に必要なマナーを説明した。

- 2) 理学療法学科4年生 第1回就職ガイダンス  
実施日時：平成23年4月6日（水）13：40～15：20  
場所：森ノ宮医療大学 321 教室  
参加人数：学生63名、職員1名  
概況：本学の就職活動テキストに沿って就職試験に必要なマナーを説明した。
- 3) 第2回就職ガイダンス（就職マナー講座）希望者のみ  
実施日時：①平成23年4月19日（火）16：20～17：50  
②平成23年4月20日（火）10：40～12：10  
場所：森ノ宮医療大学 414 教室  
参加人数：①参加者なし ②学生3名、職員2名  
概況：参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導し、面接時のマナーについてのDVDを視聴した。
- 4) 第3回就職ガイダンス（履歴書の書き方講座）希望者のみ  
実施日時：①平成23年5月17日（火）16：20～19：30  
②平成23年5月25日（水）10：40～14：40  
場所：森ノ宮医療大学 414 教室  
参加人数：①学生3名、職員2名 ②学生3名、職員2名  
概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。
- 5) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 スポーツトレーナー講演会の実施  
実施日時：平成23年5月26日（木）18：00～19：30  
場所：森ノ宮医療大学 201 教室  
参加人数：学生3名、教職員7名  
内容：元サンフレッチェ広島トレーナーであり、現在龍谷大学アスレティックトレーナーである竹田亘先生をお招きし、最も多かったスポーツ傷害とその対応方法についてテーピング実技を交えた講義があり、即実践できる内容とあって学生にとって有意義な講演となった。
- 6) 新入生歓迎ライブ  
実施日時：平成23年5月30日（月）12：10～13：00  
場所：森ノ宮医療大学 体育館  
参加人数：学生50名  
概況：新入生の歓迎を目的に、軽音楽部が主導となり実施した。学生間交流や教員との交流の場として大変有意義であった。
- 7) 第4回就職ガイダンス（模擬面接）希望者のみ  
実施日時：①平成23年5月31日（火）13：00～14：30  
②平成23年6月1日（水）10：40～12：10  
場所：森ノ宮医療大学 414 教室  
概況：実施予定であったが、参加者がいなかったため中止となった。
- 8) 日本学生支援機構予約採用決定者 採用説明会  
実施日時：平成23年6月6日（月）16：30～17：30



平成23年6月7日（火）16：30～17：30

場所：森ノ宮医療大学 415号室

参加人数：学生97名、教職員3名

概況：採用決定者に日本学生支援機構から交付された奨学生証・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりを基に、貸与を受けてから終了するまでの注意事項、返還義務についての指導を行なった。また、今年度より返還誓約書を採用後に提出となったため、記載方法、提出書類を説明した。

9) 第5回就職ガイダンス（就活マナー講座）希望者のみ

実施日時：①平成23年6月7日（火）13：30～14：30

②平成23年6月8日（水）10：40～12：10

場所：森ノ宮医療大学 414教室

参加人数：①学生5名、職員2名 ②参加者なし

概況：参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導し、面接時のマナーについてのDVDを視聴した。

10) 平成23年度 第1回奨学金選考会議

実施日時：平成23年6月16日（木）10：00～10：30

場所：森ノ宮医療大学

参加人数：本学教員4名、職員4名

概況：日本学生支援機構が定める内示数の範囲内で定期採用推薦者を推薦し、承認された。

11) 第6回就職ガイダンス（履歴書の書き方講座）希望者のみ

実施日時：①平成23年6月22日（水）14：40～17：50

②平成23年6月29日（水）10：40～14：30

③平成23年7月4日（月）14：40～17：50

場所：森ノ宮医療大学 401/414教室

参加人数：①学生3名、職員2名 ②③参加者なし

概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。

12) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付

実施日時：平成23年7月5日（火）

内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、卒業予定者勤務希望地の病院、鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを6000件送付した。

13) 第7回就職ガイダンス（就活マナー講座）希望者のみ

実施日時：①平成23年7月11日（月）16：20～17：50

②平成23年7月12日（火）16：20～17：50

場所：森ノ宮医療大学 414教室

概況：実施予定であったが、参加者がいなかったため中止となった。

14) 第8回就職ガイダンス（模擬面接）希望者のみ

実施日時：①平成23年7月19日（火）13：00～14：30

②平成23年7月20日（水）10：40～12：10

場所：森ノ宮医療大学 412 教室

参加人数：①学生1名、職員1名 ②参加者なし

概況：学生支援室員が模擬面接官となり、模擬面接を実施。入室から退室までの一連の流れを体験し、面接時のマナー、質問内容についてチェック、指導した。

15) 第9回就職ガイダンス（履歴書の書き方講座）希望者のみ

実施日時：①平成23年7月22日（金）13:00～16:10

②平成23年7月25日（月）16:20～19:30

場所：森ノ宮医療大学 414 教室

参加人数：①学生3名、職員1名、②参加者なし

概況：履歴書の書き方および自己分析の方法、意義等についてグループディスカッションを交えながら実施した。

16) 日本学生支援機構定期採用決定者 採用説明会

実施日時：①平成23年7月25日（月）16：30～17：30

②平成23年7月29日（金）12：10～13：00

場所：森ノ宮医療大学 414 号室

参加人数：学生26名、教職員2名

概況：採用決定者に日本学生支援機構から交付された奨学生証・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりを基に、貸与を受けてから終了するまでの注意事項、返還義務についての指導を行なった。また、今年度より返還誓約書を採用後に提出となったため、記載方法、提出書類を説明した。

17) 学務システム(就職)説明会

実施日時：平成23年8月2日（火）16：20～16：40

場所：森ノ宮医療大学 415 号室

参加人数：学生21名、教職員4名

概況：求人情報の検索方法や操作説明のマニュアルについて説明した。

18) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 キャリア支援セミナー

実施日時：平成23年8月5日（金）13:00～14:30

場所：森ノ宮医療大学 405 教室

参加人数：学生20名、教職員6名

内容：社会医療法人景岳会 南大阪病院 診療支援部部長兼リハビリテーション科科长山川智之先生をお招きして、医療業界が今おかれている状況、今後求められる理学療法士、鍼灸師としての人材要件などについての講演が行われ、これから就職活動する学生にとって有意義な講演となった。

19) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付

実施日時：平成23年8月

内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、卒業予定者勤務希望地の病院、鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを6000件送付した。

20) 平成23年度 第2回奨学金選考会議

実施日時：平成23年9月6日（火）11:00～12:00

場所：森ノ宮医療大学

参加人数：教員6名、職員3名

概況：日本学生支援機構が定める内示数の範囲内で追加採用候補者を推薦し、承認された。

21) 第1回学内就職説明会

実施日時：平成23年10月2日（日）13:00～15:30

場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂

参加人数：79名

参加施設：鍼灸学科14施設、理学療法学科32施設、大学院生1施設

概況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験等の情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。

22) 日本赤十字社主催 団体献血

実施日時：平成23年10月4日（火）11:45～16:00

場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂

参加人数：受付数45名、採血数29名、不採血数16名

内容：7月20日実施予定であったが、台風のため延期し、10月4日の実施となった。

授業の関係から、採血数が29名であり、前回より下回る結果となった。

23) 第10回就職ガイダンス

実施日時：平成23年10月6日（木）13:00～14:30

場所：森ノ宮医療大学 411教室

参加人数：4年生5名

概況：キャリアコンサルタントの方をお招きし、面接と履歴書での自己PRについて講義していただいた。

24) 日本学生支援機構 返還説明会

実施日時：①平成23年10月17日（月）16:30～17:30

②平成23年10月31日（月）16:30～17:30

③平成23年11月10日（木）14:40～15:40

場所：森ノ宮医療大学 401教室

参加人数：学生40名、教職員2名

概況：4年生に日本学生支援機構から交付された返還誓約書・奨学生のしおりを配布するとともに記載事項に誤りがないかを確認させ、DVD（奨学生に採用された皆さんへ）を上映した。奨学生のしおりを基に、返還の注意事項、返還義務についての指導を行なった。

25) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 キャリア支援セミナー

実施日時：平成23年10月31日（月）18:00～19:30

場所：森ノ宮医療大学 415教室

参加人数：学生8名、教職員4名

概況：日本プロバスケットボール bj リーグ京都ハンナリーズ トレーナー兼マネージャー兼通訳 アスレティックトレーナー 菊地紀子氏をお招きして、アスレティックトレーナーになるための必要な知識や実体験についての講義があり、学生にとって有意義な講演会となった。

- 26) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付  
実施日時：平成23年11月  
内容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、卒業予定者勤務希望地の病院、鍼灸院、施設等に対し求人票、DMを1,095件送付した。
- 27) 平成23年度（通算第7回）森ノ宮医療大学教育後援会総会開催  
実施日時：平成23年11月5日（土）11:00～15:00  
場所：森ノ宮医療大学 食堂棟2階  
参加人数：役員 会長他10名、保護者会員55名、大学教職員27名  
概況：森ノ宮医療大学役員補充が行われ、全会一致で承認された。総会終了後、メディアカフェでの昼食にて保護者と教員の交流を行い、午後から学科別懇談会ならびに個別面談が行われた。
- 28) 第5回森ノ港祭（大学祭）  
実施日時：平成23年11月5日（土）～11月6日（日）  
場所：大学コスモキャンパス、南校地  
参加人数：本学学生全員、教職員、地域住民約600名  
概況：学生教育、学生間交流、地域交流の場として実施した。学外参加者と多くの交流がなされ大盛況であった。イベントとして実施した健康体力測定、看護イベント、お灸体験には地域住民の参加があり、本学の取り組みなど多くの方にお伝えすることができ有意義なものとなった。
- 29) 第11回就職ガイダンス（12月18日合同就職説明会活用術）  
実施日時：①平成23年12月12日（月）16:30～18:00  
②平成23年12月18日（日）10:30～12:00  
場所：森ノ宮医療大学 415教室  
参加人数：学生93名  
概況：キャリアカウンセラーの方をお招きし、学内就職説明会の活用方法、学内就職説明会でのマナー等について講義していただいた。
- 30) 第2回学内就職説明会  
実施日時：平成23年12月18日（日）13:00～15:30  
場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂  
参加人数：83名  
参加施設：鍼灸学科20施設、理学療法学科19施設  
概況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験等の情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。
- 31) 日本赤十字社主催 団体献血  
実施日時：平成24年1月24日（火）11:45～16:00  
場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂  
参加人数：受付数84名、採血数54名、不採血数30名  
内容：受付数84名、採血数が54名であり、授業日にもかかわらず、採血数が今までで一番多い参加数であった。
- 32) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 キャリア支援セミナー  
実施日時：平成24年2月22日（水）13:00～14:30

場所：森ノ宮医療大学 415 教室

参加人数：学生 74 名、教職員 26 名

概況：住友病院 老人看護専門看護師である中筋美子先生をお招きして、急性期病棟現場の実態やチーム医療をテーマにした講演があり、学生にとって有意義な講演会となった。

33) 平成23年度（通算第8回）森ノ宮医療大学教育後援会総会開催

実施日時：平成24年3月10日（土）10:30～13:00

場所：森ノ宮医療大学 食堂棟2階

参加人数：役員 会長他15名、保護者会員26名、大学教職員22名

概況：森ノ宮医療大学役員改選が行われ、全会一致で承認された。総会終了後、学科別懇談会ならびに個別面談が行われた。

## 10. 森ノ宮医療大学 平成23年度部活動活動状況

### 1) バドミントン部

昇部：平成20年4月

人数：21名（男性9名、女性12名）

活動日：毎週 火、金

活動場所：①本学体育館、②住吉スポーツセンター、③大阪府中央体育館

実績：住之江区民バドミントン大会

### 2) 柔道部

昇部：平成20年4月

人数：7名（男性6名、女性1名）

活動日：毎週火、木

活動場所：本学体育館

実績：合宿、昇段試合（於：講道館（大阪）、大阪学生柔道体重別大会）

### 3) バレーボール部

昇部：平成21年6月

人数：18名（男性8名、女性10名）

活動日：不定期

活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③港スポーツセンター

実績：TDRカップ、ドリーマーズカップ、VB-1、合宿

### 4) 陸上部

昇部：平成21年7月

人数：6名（男性6名）

活動日：不定期

活動場所：①本学外周、②本学体育館

実績：24時間マラソン

### 5) ハンドボール部

昇部：平成21年9月

人数：15名（男性9名、女性6名）

活動日：不定期

活動場所：①本学南校地（月4回程度）、②舞洲アリーナ（月2回程度）、③相愛大学

(本町学舎)

実績：関西学生ハンドボール連盟秋季リーグ、合宿（相愛大学、明治国際医療大学と連合）

6) 硬式テニス部

昇部：平成22年6月

人数：27名（男性14名 女性13名）

活動日：毎週木曜日

活動場所：①本学南校地、②ミズノクリスタコート（月4回程度）

実績：合宿、関西学生チャレンジトーナメント（女子）、毎日新聞社杯香里オープンテニストーナメント

7) バスケットボール部

昇部：平成22年6月

人数：40名（男性20名、女性20名）

活動日：不定期

活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ（月4回程度）

実績：コナミカップ、試合（兵庫医科大学、伏見北堀、成蹊女子大学）

8) 軽音部

昇部：平成22年11月

人数：32名（男性22名、女性10名）

活動日：不定期

活動場所：①本学構内 ②BASS ON TOP スタジオ

実績：新入生歓迎ライブ、大学祭ライブ、卒業ライブ

大学公認である部への昇格条件である定期活動報告を提出しているのは2サークル（吹奏楽サークル、ライフサポートサークル）であり、平成24年度中に部に昇格予定である。施設予約のみ提出しているサークルは（ダンスサークル、鍼灸3年・理学2年フットサルサークル、鍼灸2年球技サークル、鍼灸2年映画サークル）である。

(在川 洋平)

## 1 1. 研究支援室の事項について

### 1. 研究費等に関する説明会 参加状況について

- ① 独立行政法人日本学術振興会  
「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）制度説明会」等  
日時：平成 23 年 7 月 1 日（金）  
場所：京都大学（吉田キャンパス百周年時計台記念館）
- ② 文部科学省  
「平成 24 年度科学研究費助成事業—科研費—公募要領等説明会」  
日時：平成 23 年 9 月 9 日（金）  
場所：大阪大学（吹田地区キャンパス 大阪大学コンベンションセンター3 階 M0 ホール）
- ③ 文部科学省  
「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」等に関する説明会  
日時：平成 23 年 10 月 25 日（火）  
場所：文部科学省旧庁舎 6 階 第 2 講堂
- ④ 独立行政法人日本学術振興会  
「「科研費電子申請システム」の利用及び操作方法等説明会」  
日時：平成 24 年 2 月 6 日（月）  
場所：学術総合センター2 階 一橋記念講堂
- ⑤ 文部科学省  
「公的研究費の管理・監査に関する研修会」  
日時：平成 24 年 3 月 2 日（金）  
場所：北とぴあ さくらホール

### 2. 科学研究費補助金応募組状況（研究計画調書提出）について

提出月：4 月～5 月

提出先：独立行政法人日本学術振興会

研究種目名	応募研究者
研究活動スタート支援	伊津美 孝子
	吉川 有葵
	上田 佳奈

提出月：10 月～11 月

提出先：独立行政法人日本学術振興会

研究種目名	応募研究者
平成 24 年度 基盤研究 (B)	村上 生美
	仲西 宏元
平成 24 年度 基盤研究 (C)	伊津美 孝子
	川畑 浩久
	辻丸 泰永
	吉村 弥須子

平成24年度 基盤研究 (C)	来栖 清美
	西村 千年
	山下 仁
	増山 祥子
平成24年度 挑戦的萌芽研究	三木屋 良輔
	山田 純子
	大巻 悦子
平成24年度 挑戦的萌芽研究	永瀬 佳孝
平成24年度 若手研究 (B)	住田 陽子
	平川 憲子
	中原 英博
	角田 晃啓

3. 科学研究費補助金交付について

(金額 単位：円)

研究代表者の氏名	研究種目等	課題番号	交付額等
山下 仁	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	21500670	交付額 910,000 うち直接経費 700,000 間接経費 210,000
宮本忠吉	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	22500617	交付額 1,300,000 うち直接経費 1,000,000 間接経費 300,000
松熊秀明	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	22590670	交付額 1,300,000 うち直接経費 1,000,000 間接経費 300,000
吉川彰二	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	22592505	交付額 1,040,000 うち直接経費 800,000 間接経費 240,000
住田陽子	科学研究費補助金 (若手研究(B))	21792185	交付額 260,000 うち直接経費 200,000 間接経費 60,000
吉川有葵	科学研究費補助 (研究活動スタート支援)	23890233	交付額 780,000 うち直接経費 600,000 間接経費 180,000
鍋田智之	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	23501123	交付額 2,080,000 うち直接経費 1,600,000 間接経費 480,000
青木元邦	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	23590902	交付額 3,120,000 うち直接経費 2,400,000 間接経費 720,000
森谷正之	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	23592725	交付額 2,340,000 うち直接経費 1,800,000 間接経費 540,000
酒井ひろ子	科学研究費補助金 (基盤研究(C))	23593352	交付額 1,040,000 うち直接経費 800,000 間接経費 240,000
前田薫	科学研究費補助金 (若手研究(B))	23700649	交付額 3,510,000 うち直接経費 2,700,000 間接経費 810,000



4. その他の外部資金研究費等について

(金額 単位：円)

研究者の氏名	研究種目等	交付額等	備考
森谷 正之	科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 課題番号 23592699 研究分担者 分担金	分担金配分額 130,000 うち直接経費 100,000 間接経費 30,000	研究代表者所属 大阪大学 大学院歯学研究科 教授・吉田 篤
前田 薫	科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 課題番号 23300238 研究分担者 分担金	分担金配分額 65,000 うち直接経費 50,000 間接経費 15,000	研究代表者所属 金沢大学 医学系 教授・藤原 勝夫
	科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) 課題番号 23650365 研究分担者 分担金	分担金配分額 39,000 うち直接経費 30,000 間接経費 9,000	研究代表者所属 金沢大学 医学系 教授・藤原 勝夫
青木 元邦	課題番号 AS232Z00003G 研究担当者	委託研究費 840,000 うち直接経費 646,154 間接経費 193,846	独立行政法人 科学技術振興機構
	経済産業省 近畿経済産業局 平成19年度 地域コンソーシアム	補完研究	NPO 法人 近畿バイオインダストリー 振興会議

5. 調書等提出状況

提出月	書類名	提出先
4月	平成23年度科学研究費補助金交付申請書 平成23年度科学研究費補助金交付請求書	独立行政法人日本学術振興会
5月	補完研究コンソーシアムに係る共同研究契約書 経済産業省所管に属する物品の使用又は転貸に関する契約書 借受書	NPO 法人 近畿バイオインダストリー振興会議
	産学連携等実施状況調査(平成22年度実績)調書	文部科学省
	平成22年度科学研究費補助金実績報告書(収支決算報告書)	独立行政法人日本学術振興会
6月	平成23年度学術研究助成基金助成金交付申請書 平成23年度学術研究助成基金助成金支払請求書	独立行政法人日本学術振興会
	競争的資金に係る間接経費執行実績報告書(平成22年度)	文部科学省
7月	科学技術研究調査調書	総務省
	平成23年度科学研究費補助金に係る分担金 受領委任状・振込依頼書	大阪大学 金沢大学
	平成23年度大学等における科学技術・学術活動実態 調査 回答	文部科学省
	平成23年度大学等発ベンチャーの現状と産学連携の 課題に関する調査 回答	文部科学省
10月	「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイド ライン(実施基準)」に基づく体制整備等の実施状況 報告書 平成23年度	文部科学省
3月	平成23年度科学研究費補助金に係る分担金経理報告 書	大阪大学 金沢大学

6. その他

国立情報学研究所 ILL 文献複写等料金相殺サービス利用の経理責任を担っている。  
ReaD に研究機関として登録し機関管理を担っている。

(葉廣 泰代)

## 12. 学術研究委員会の事項について

### 1. 学術研究委員会委員の改変及び規定改定

委員として、下記を定めた。  
鍼灸学科より、永瀬・澤田  
理学療法学科より、青木・前田  
看護学科より、吉川・来栖  
大学院より、山下・青木  
学識経験者として、宮本・森谷

### 2. 委員長・副委員長の選出

互選により、青木が委員長に選出され、委員長が宮本を副委員長に指名した。

### 3. 下部組織について

#### (1) 森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会

学術研究委員会により、部会長に永瀬を選任した。  
部会委員は部会規定第3条に則り、下記に定めた。

第3条 部会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- |                    |    |       |
|--------------------|----|-------|
| (1) 基礎医学系の教授または准教授 | 1名 | 永瀬    |
| (2) 臨床医学系の教授または准教授 | 2名 | 青木・吉川 |
| (3) 一般教養系の教授または准教授 | 1名 | 宮本    |
| (4) 学外の有識者         | 1名 | 井上(悦) |

倫理審査申請書の研究期間を最大3年と新たに定めた。

#### (2) 森ノ宮医療大学学術委員会動物実験倫理審査部会

学術研究委員会により、部会長に森谷を選任した。  
部会委員は部会規定第3条の「各学科から選出された者 各1名」を「学識経験者」に変更し、下記に定めた。

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- |                   |    |       |
|-------------------|----|-------|
| (1) 基礎医学系の教授又は准教授 | 1名 | 森谷    |
| (2) 臨床医学系の教授又は准教授 | 2名 | 青木・澤田 |
| (3) 一般教養系の教授又は准教授 | 1名 | 宮本    |
| (4) 学識経験者         | 1名 | 川畑    |

### 4. 動物実験施設設立

1. 文科省動物実験指針や外部評価等の対外的な問題を考慮し、新たに「動物実験施設」を設立し、大学組織図に組みこんだ。動物実験施設は飼育室と東棟3F301から成り立つものとする。学術研究委員会が管理運営することとし、動物実験施設長は学術研究委員会委員長が兼任する。倫理的審査はこれまで通り、動物実験倫理審査部会が行い、研究機関の長である学長に答申するものとする。
2. 倫理審査申請書の研究期間を最大3年と新たに定めた。
3. 卒業研究等で動物実験訓練（本学では現時点で実施不能）を受講していない学生が参加する場合を想定し、学生を研究実施者ではなく研究補助者として記載する欄を

新たに設けて倫理審査申請書を改変した。

4. 動物実験実施者対象に年1回の動物実験訓練講習を実施することとし、平成24年3月に第一回を実施した。
  5. 年次報告書を作成し、情報の公表を年1回紀要にて行うこととした。
5. 森ノ宮医療大学知的財産ポリシーを策定した。
6. 学術セミナー・市民公開講座の実施

鍼灸学科・理学療法学科・看護学科の各先生方からのレクチャーにより、異なる医療資格・研究分野の垣根を超えて知識を深め、医学・保健医療研究を推進する取り組みとして、大学における研究促進・活性化を目的とした学術セミナーを定期的を開催することとした。セミナーは本学学生も自由に聴講でき、さらに市民公開講座として一般市民の参加できるものとした。

- ・ 第1回 坂出祥伸先生 「中国思想のアウトラインー自然観を中心にー」
- ・ 第2回 河村廣幸先生 「理学療法と医用映像 ～研究を始めるための映像技術～ : 理学療法士として、日本医学写真学会副理事長として」
- ・ 第3回 吉川彰二先生 「難治性てんかん患者の小児医療から成人医療へのトランジション・プログラムの開発」
- ・ 第4回 山下仁先生 「鍼灸の臨床・研究・教育の現状」
- ・ 第5回 前田薫先生 「立位姿勢の調節における脳内過程についての研究」
- ・ 第6回 酒井ひろ子先生 「能動喫煙と受動喫煙による月経異常発症のリスクと月経周期に伴う喫煙行動の変動と禁煙効果」
- ・ 第7回 荻原俊男学長 「健やかな長寿を目指して：超高齢社会と老年医学」

## 7. 平成23年度の研究費執行状況

(平成23年度予算額：2562万円)

平成23年度策定した学術研究委員会ポリシーに則って研究費の適性使用を目指した。

(1) 個人研究費：1205.5万円

(2) 購入研究機器・購入備品・メンテナンス費

- ①クリオスタット
- ②Real time PCR
- ③ソニケーター
- ④小動物用パルスドップラー
- ⑤メス型電磁弁

- ⑥膜微量電流計
- ⑦SPSS 解析ソフト
- ⑧共分散構造分析用 AMOS ソフト AMOS
- ⑨434 実験室実験ベンチ
- ⑩接触型レーザー血流計
- ⑪温度センサー
- ⑫皮膚温度用センサー
- ⑬解析用ソフト
- ⑭電子天秤
- ⑮TA 用ケーブル USB 出力キット
- ⑯トリプルセンス
- ⑰トリプルセンス用 USB ステーション
- ⑱生体アンプ
- ⑲筋電図電極リード
- ⑳現像機
- ㉑ミリQメンテナンス
- ㉒血液ガス分析装置レンタル・保守料金 計 1220.02 万円

(3) 動物実験施設運営費：51.6 万円

(1) ～ (3) 計 2477.12 万円

## 8. 平成23年度 研究助成金獲得状況

「新規」

- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究C）  
「骨リモデリングにおけるRA系関与機構とARB骨保護作用：老年者高血圧治療の新概念」  
研究代表者：青木元邦
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究C）  
「はり師・きゅう師における多施設共用臨床実習前評価のための客観的臨床能力試験の検討」  
研究代表者：鍋田智之 研究分担者：小島賢久
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究C）  
「脳卒中に伴う摂食嚥下障害発生機構の神経解剖学的解明」  
研究代表者：森谷正之 研究分担者：宮本忠吉
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究C）  
「思春期女子が受ける母親の喫煙のリスクと母娘への禁煙・防煙支援プログラムの開発」  
研究代表者：酒井ひろ子
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（若手研究B）  
「随意的な立位姿勢制御の中枢過程へバイオフィードバック法がおよぼす影響」  
研究代表者：前田薫
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（研究活動スタート支援）  
「腎移植レシピエントにおける妊娠・出産の体験」  
研究代表者：吉川有葵

- ・ 科学技術振興機構 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP  
「関節拘縮に対する新規おとり型核酸医薬品開発と薬剤併用リハビリテーションの新概念の確立」  
研究代表者：青木元邦
- ・ 日本抗加齢協会研究助成・研究奨励賞  
「転写因子 HIF を軸とした関節拘縮分子メカニズム解明と新規分子治療製剤開発」  
研究代表者：青木元邦
- ・ ヤマハ発動機スポーツ振興財団 YMFS スポーツチャレンジ研究助成  
「運動時の呼吸循環系を制御する高次脳機能メカニズムの統合的理解—予測・見込み的制御の運動生理学的意義—」  
研究代表：宮本忠吉

「継続」

- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究 C）  
「音楽家鍼灸の確立可能性—質問調査およびランダム化比較試験によるエビデンスの検討」  
研究代表者：山下仁
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究 C）  
「運動と中心循環の相互因子が呼吸化学調節系の動的フィードバック制御機能に及ぼす影響」  
研究代表者：宮本忠吉 研究分担者：中原英博
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究 C）  
「鍼灸刺激の転写因子 NFκB を介する局所炎症・免疫機転への分子メカニズムの解明」  
研究代表者：松熊英明 研究分担者：青木元邦・川畑浩久
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究 C）  
「難治性てんかん患者の小児医療から成人医療へのトランジション・プログラムの開発」  
研究代表者：吉川彰二 研究分担者：佐藤寿哲
- ・ 文部科学省科学研究費助成金（基盤研究 B）  
「中堅看護師のキャリア・アンカーとメンタリングに関する実証的研究」  
研究代表者：住田陽子
- ・ 近畿経済産業局 地域新生コンソーシアム研究開発事業 補完研究  
「新規核酸医薬 SMAP デコイの医薬品原体としての開発」  
研究代表者：青木元邦
- ・ 大阪難病研究財団  
「骨代謝における RA 系の関与の解明：高血圧治療新概念の確立」  
研究代表者：青木元邦

(青木 元邦)

### 13. 森ノ宮医療大学 附属図書館について

#### (1) 概況報告

入学当初から積極的に図書館を利用する1年生の姿も見られ、図書館を日常的に利用する学生が多くなっている。

平成20年度から始まった「ブックハンティング」(館長および司書が、学生と一緒に書店に出かけ、自由に選書してもらう企画)は、平成23年度も2回開催(第7回・第8回)し、図書館行事としてほぼ定着した。

また、平成23年度は土曜日の開館も46日と増え、利用も定着してきた。入館ゲートのカウンタ数から計算すると、延べ4,590回の入館回数であった。

資料の購入については、平成23年度も「鍼灸学」・「基礎医学」・「リハビリテーション医学」・「理学療法学」・「看護学」・「スポーツ医学」等を重点的に選書するとともに、教員による指定図書・推薦図書制度を始め、バランスの良い資料収集に努めた。

#### (2) 事業報告

a. 年間開館日数 282日 通常開館 236日 (月～金 8:00～19:30)  
土曜日開館 46日 (土 11:00～17:00)

#### b. 平成23年度の活動

日程	概要	場所	参加
4月6日	新学年オリエンテーションでのガイダンス	森ノ宮医療大学内	近藤, 井上
4月～5月	「森ノ宮医療大学附属図書館ガイダンス」企画	附属図書館内	図書館全
5月20日	私大図協西地区部会阪神地区 第1回定期総会	桃山学院大学	近藤
6月17日	私大図協 西地区部会 総会	倉敷芸術科学大学	中村館長
6月22日	私大図協西地区部会阪神地区協議会 第1回「学習支援プロジェクト」研修会	金沢工業大学	井上
6月23, 24日	大学図書館近畿イニシアティブ「中級研修」	阪大総合図書館	近藤
6月27日	私大図協西地区部会阪神地区協議会 「第1回相互利用担当者連絡会」	関西国際大学	近藤
7月2日	第7回ブックハンティング	ジュンク堂梅田店	近藤, 井上
7月27日	私大図協西地区部会阪神地区協議会 第2回「学習支援プロジェクト」研修会	関西学院大学梅田キャンパス	近藤
8月5日	私大図協西地区部会阪神地区 第1回研究会 「電子書籍と図書館における学習環境」	大阪クリスタルセンター	近藤
8月26日	ブレインテック『情報館』短期集中セミナー	協和テクノロジー大阪本社	近藤
8月27日	近畿病院図書室協議会 「病院図書館バージョンアップ！」	藍野大学中央図書館	井上
9月1日, 2日	私大図協 第72回総会&研究大会	早稲田大学	中村館長
9月15日	私大図協 西地区部会研究会 「図書館利用促進を目的とした取組」	甲南大学 岡本キャンパス	井上
9月16日	機関リポジトリ講習会②	神戸松蔭女子大学	近藤
10月11日	H.23京大図 第1回講演会(近畿イニシアティブ)	京都大学	近藤
10/19～21日	学術情報リテラシー教育担当者研修	大阪大学	近藤
11月20日	第8回ブックハンティング	ジュンク堂梅田店	中, 近, 井
12月9日	機関リポジトリ講習会⑤	奈良先端科学技術大学院大学	近藤
12月14日	私大図協 阪神地区 第2回相互利用担当者連絡会	関西国際大学 尼崎キャンパス	近藤
12月21日	2011 XooNIps 研究会大阪ワークショップ	大阪市立大学 杉本キャンパス	近藤
1月17日	2011年度第2回京都地区協議会研修会	国立国会図書館関西館	近藤
2月3日	『情報館』短期集中セミナー	協和テクノロジー大阪本社	井上

	「蔵書点検」	(中崎町)	
2月10日	私大図協 阪神地区 第2回阪神地区研究会	プール学院大学	近藤
2月16日	兵庫県大学図書館協議会第2回研究会 「大学図書館における教育支援のあり方について」	甲南大学 岡本キャンパス	井上
2月20日	私大図協 阪神地区 第2回定期総会 (2012.2以降)	桃山学院大学	中村
3月9日	大阪大学附属図書館研修会 (大図近畿イニシアティブ経由) 「図書館員のための資料修復の第一歩」	大阪大学附属図書館	小松

(私大図協=私立大学図書館協会)

c. 貸出

貸出条件 学生3冊2週間, 教員10冊1ヶ月 (非常勤5冊1ヶ月)

年間貸出数 12,139冊 (学生10,020冊、校友会員435冊、教職員1,676冊、その他8冊)

比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19年度	22	102	60	40	22	52	70	148	179	230	143	110	1,178
20年度	290	313	454	459	329	255	327	325	479	395	294	246	4,166
21年度	488	371	716	844	578	350	990	622	735	641	730	392	7,457
22年度	574	792	1,262	1,013	894	910	1,185	1,165	936	974	998	442	11,145
23年度	1,015	1,024	1,073	950	1,266	834	990	1,100	1,037	1,394	1,078	378	12,139

d. 貸出予約冊数 e. 購入希望冊数 f. 複写枚数 g. レファレンス利用数

比較	d.貸出予約冊数	e.購入希望冊数	f.複写枚数	g.レファレンス利用数
19年度	19冊	7冊	1,529枚	5件
20年度	60冊	93冊	3,540枚	232件
21年度	113冊	135冊	17,441枚	510件
22年度	170冊	58冊	32,030枚	621件
23年度	260冊	55冊	11,860枚	536件

図書館蔵書がある程度充実してきたためか、購入希望冊数が減少してきた。

h. 相互協力

比較	文献複写		相互貸借		相互利用	
	依頼	受付	依頼	受付	依頼	受付
19年度	33件	1件	0件	0件	0件	0件
20年度	169件	26件	3件	0件	0件	2件
21年度	391件	61件	1件	0件	0件	0件
22年度	498件	62件	4件	1件	1件	1件
23年度	468件	76件	0件	4件	0件	0件

学内複写依頼 468件について

対応	NACSIS-ILL	国立国会図書館	他館利用案内	Medical Online	CiNii収録	WEB無料公開	自館所蔵	謝絶	合計
件数	298件	6件	10件	36件	14件	37件	41件	26件	468件

468件中92件(CiNii収録, Web無料公開, 自館所蔵分)は依頼者自身にダウンロードしていただいた。

文献をダウンロードできるデータベースの利用が増えたため、文献複写依頼の件数は昨年度より減少し、業務の軽減に繋がった。

データベース利用数(文献ダウンロード数)は次の通りである。

	Medical Online	CiNii	CINAHL	合計
平成20年度	43	未加入	未加入	43
平成21年度	275	117	未加入	392
平成22年度	540	168	未加入	708
平成23年度	967	435	39	1,441



i. 学外利用者サービス

比較	専門学校生	校友会員	貸出(専・交)	一般学外者	電話照会
19年度	3名	0名	0冊	6名	4件
20年度	4名	0名	2冊	71名	10件
21年度	17名	2名	8冊	71名	17件
22年度	5名	12名	25冊	61名	6件
23年度	7名	516名	284冊	38名	6件

第一期生の卒業により、校友会員の利用が激増した。

j. 図書館ガイダンスの実施

平成23年度から予約制の「図書館ガイダンス」を実施した。参加人数は以下の通りである。

学科	1年	2年	3年	4年	合計
鍼灸学科	0名	0名	6名	0名	6名
理学療法学科	0名	0名	3名	0名	3名
看護学科	40名	—	—	—	40名
合計	40名	0名	9名	0名	49名

3～5人の少人数制、図書館利用の基礎からデータベース検索まで項目を並べて受講者に選んでもらう方法をとった。その結果、ほとんどが全項目を希望したため、やや盛りだくさんすぎた印象があったが、利用した学生・教員には概ね好評であった。

看護学科は一部の基礎ゼミで利用があり、1年生の約半数が受講したことになる。ガイダンスを受講した学生が、より詳しいレファレンスを求めてきたり、自ら資料を探し、他の学生にも利用方法を教えたりする姿が見られる等、ガイダンスが有効であったと思われる。

今後の課題として、すべての学科の基礎ゼミに取り入れていただくことを目標に企画していく。そのためには、多人数に対応できる内容に練り直し、教材やアンケート用紙を用意する等、受講者の理解度を客観的に測りフィードバックしていけるような方法を考える必要がある。

k. ブックハンティング

年度	回	日程	場所	参加人数(人)		購入冊数 (冊)	購入金額 (円)
				学生	教職員		
20年度	第1回	2008/9/20	ジュク堂(難波)	2	2	15	27,765
	第2回	2008/12/7	ジュク堂(堂島)	2	2	7	15,351
21年度	第3回	2009/6/27	ジュク堂(堂島)	6	2	13	45,118
	第4回	2009/12/6	ジュク堂(堂島)	10	3	93	236,139
22年度	第5回	2010/7/3	ジュク堂(堂島)	9	2	96	188,825
	第6回	2010/12/5	ジュク堂(堂島)	6	4	49	179,966
23年度	第7回	2011/7/2	ジュク堂(梅田)	3	2	43	187,476
	第8回	2011/11/20	ジュク堂(梅田)	4	3	36	107,958

学生から出された希望図書はほぼ購入できているが、参加者を増やすことが課題となっている。

1. 実習生への対応

学生の長期実習に対応して、通常2週間の図書の貸出を、実習期間と前後1週間を貸出期間とする「実習貸出」を実施し、長期実習に対応した。

理学療法学科2年生 1・2・3・4期 / 理学療法学科3年生 1・2・3・4期  
 理学療法学科4年生 1・2・3・4期

(3) 所蔵資料

a. 図書

項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度		
所蔵図書冊数		7,455	10,414	11,981	14,172	17,509	20,888		
内訳	登録図書冊数	2,964	4,814	6,419	7,474	11,697	14,667		
	うち購入図書	和書	2,447	3,336	4,366	4,886	6,006	7,810	
		内訳	洋書(中国語含)	2,126	2,784	3,736	4,229	5,312	6,399
			製本雑誌 ※1	321	465	473	487	520	549
			視聴覚資料	0	0	0	0	0	464
		うち寄贈図書	517	1,478	2,053	2,588	5,691	6,857	
	内訳	和書	507	1,433	1,994	2,485	5,368	6,530	
		洋書(中国語含)	0	9	13	15	100	104	
		製本雑誌 ※1	10	10	16	35	35	35	
		視聴覚資料	0	26	30	53	188	188	
	未登録図書冊数 ※2		4,491	5,600	5,562	6,698	5,812	6,221	
	内訳	年間寄贈冊数	2,319	2,587	537	1,671	2,217	1,572	
		年間登録冊数	517	1,478	575	535	3,103	1,163	
		専門学校移管図書	2,689	2,689	2,689	2,689	2,689	2,689	

※1 製本雑誌は図書として集計する。

※2 前年度の未登録図書冊数+次年度の年間寄贈図書冊数-寄贈図書の年間登録冊数で計算

b. 雑誌

項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	
受入雑誌総タイトル数		0	92	112	138	156	238	
内訳	購入雑誌タイトル数	0	49	57	56	66	105	
	内訳	和雑誌	0	36	43	41	50	74
		洋雑誌(中国語含)	0	12	12	12	13	18
		電子ジャーナル	0	0	0	0	0	8
		データベース	0	1	2	3	3	5
	寄贈雑誌タイトル数	0	43	55	82	90	133	
内訳	和雑誌(紀要含)	0	36	47	72	79	123	
	洋雑誌(中国語含)	0	7	8	10	11	10	

(中村 允之)

## 1.4. 森ノ宮医療大学 附属鍼灸施術所(はり・きゅうコスモス治療院)について

### 1. 組織

鍼灸師免許を有する鍼灸学科専任教員および研究員、卒後研修生がローテーションで鍼灸施術を行った。また、施術所専任の技術職員が全曜日にわたって鍼灸施術に従事した。施術者の内訳は、鍼灸学科教授2名(山下、仲西)、准教授1名(坂本)、講師2名(松熊、鍋田)、助教3名(辻丸、涌田、増山、辻)、技術職員1名(青井)、客員研究員1名(天野)、研究員1名(古瀬)、卒後研修生1名(黒部)である。(人員配置の平均:1日3.2名)

受付業務は曜日担当者が原則、電話予約対応から料金受取まで全過程を行っている。

8月より西棟に附属施術所を移転し、鍼灸臨床、附属基礎実習や附属臨床実習など事業環境の充実を図っている。

### 2. 施術時間および料金体系

(1) 初診料(初診時のみ)	1000円(消費税込)
(2) 通常料金	3000円(消費税込)
(3) 提携施設・団体料金	2000円(消費税込)
(4) 学園職員	1000円(消費税込)
(5) 学園学生(初診料免除)	500円(消費税込)
(6) 小児鍼	500円(消費税込)

実習協力料金の設定: 臨床実習への協力を承諾した上記(2)(3)の患者は1,500円

提携施設・団体: 近隣で社会的連携が緊密になると予想される、あるいは患者紹介をさせていただいた施設や団体などを提携施設・団体として施術料の優遇を行っている。現在指定した施設・団体は以下のとおり。

近鉄ビルサービス 悦(株式会社ガイア)

リバーガーデン ローレルスクエア大阪ベイタワー

山口コスモデンタルクリニック 全労災大阪府本部

関西インターメディア(FM COCOLO) NTTドコモ

シーサイドレジデンスコスモスクエア咲洲

### 3. 主な宣伝活動

大学正面玄関の看板、コスモスクエア駅の携帯用時刻表での広告、大学ホームページ、学園校友会報への掲載などを行った。

### 4. その他の活動

咲洲ウォーキング、咲洲庁舎イベントに鍼灸治療ブースを開設し、鍼灸治療に対する啓発を行った。

(仲西宏元)

## IV. 附属診療所みどりの風クリニック・附属施術所みどりの風鍼灸院 事業報告書

### 1. 業務日程

#### ●みどりの風クリニック

- ①診療日数 243 日
- ②休診日
  - 休日・祝日 66 日
  - 土曜休診日（第1, 3土曜日） 24 日
  - 木曜休診日（第2, 4木曜日） 24 日
  - 夏季休診日 5 日(8月11日～15日)
  - 年末年始休診日 6 日(12月29日～1月3日)
- ③職員健康診断
- ④専門学校学生検診
- ⑤日本東洋医学会
- ⑥日本肩関節学会
- ⑦日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
- ⑧毎月第4(or 第5)土曜：クリニック・鍼灸院定例会議
- ⑨柔道整復学科臨床実習（昼間部・夜間部）

#### ●みどりの風鍼灸院

- ①診療日数 241 日
- ②休診日
  - a) 日曜・祝日 66 日
  - b) 土曜休診日（第1・第3） 24 日
  - c) 木曜休診日（第1・第4） 24 日
  - d) 夏期休診日 5 日（8/11～8/15）
  - e) 年末年始休診日 6 日（12/29～1/3）
  - f) 森ノ宮医療学園新年会 1 日（1/4）
- ③毎月第4土曜：クリニック・鍼灸院合同定例会議
- ④中国研修(江陰中医病院)：鍼灸学科在校生・卒業生(于思・尾崎朋文；8月18日～25日)
- ⑤日本臨床鍼灸懇話会全国集会(大阪大会)：2日間（11月26日・27日）
- ⑥みどりの風クリニック・鍼灸院合同：消防訓練（12月1日）
- ⑦中国研修（天津中医大学）：専門学校鍼灸学科在校生・卒業生、森ノ宮医療大学在学学生（于思；3月21日～28日）
- ⑧みどりの風クリニック・鍼灸院 新卒者研修会(3月24日)

## 2. 診療体制について

### ● みどりの風クリニック診療体制

標榜科

内科：一般内科・漢方内科・心療内科

整形外科：整形外科・リハビリテーション科

休診日(日曜・祝日・第1,3土曜日、第2,4木曜日) 内科、水・木曜日午後診予約制

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:00(内科、整形)	○	○	○	○	○	○
午後 1:30～ 4:30(内科)	○	○	○	○(整形)	○	×
夜間 4:30～ 7:30(整形)	○	○	○	×	○	×

### ● みどりの風鍼灸院施術体制

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～11:00	○	○	○	○	○	○
午後診 1:30～4:00	○	○	○	○	○	×
夜間診 4:30～7:30	○	○	○	×	○	×
休 診 日	日曜日、祝日、第1・3土曜日、第2・4木曜日					

## 3. 平成23年度患者動向について

### ● みどりの風クリニック

患者総数は25,133人(前年度21,266人)で、前年比は118.2%であった。内訳は内科7,513人(前年度7,307)、整形外科17,620人(前年度13,959人)となっている。初診患者数は2,743人で、初診率(初診患者数の割合)は10.9%であった。内訳は内科956人(同:12.8%)、整形外科1,769人(同:10.0%)である。

### ● みどりの風鍼灸院

年間利用患者総数は3,836人(月平均319.7人)となる。前年の3,798人と比べて38人(1.0%増)と患者数は増加した。新患者数は146人で前年の147人と比べて1人(0.7%減)減少となる。1日平均利用者は15.8人で前年の15.7人と比べて0.1人(0.6%増)増加した。

(宮崎 義雄・中島 茂)

## V. 森ノ宮医療学園出版部 事業報告書

年間売上 3,960万7,173円

(予算比 91.2% 予算 4,344万6,500円、昨年比 89.3%、昨年度売上 4,436万2,264円)

### 1. 概況報告

平成 23 年度は、季刊雑誌「鍼灸 OSAKA」は 100 号を迎え、新世紀に突入。出版部の存在意義を体現するものとして、さらに内容充実をメインに取り組んだ。その一つとして、103 号では特集テーマを「腹診再考」とし、日本鍼灸の特徴の一つである腹診について、第一線で活躍されている先生方に改めて論じていただいた。また 104 号では「鍼灸の法制度考える」として、鍼灸が医事法においてどう規定されているか、その実態と問題点、将来像を取り上げた。各号とも高評価をいただき、売上も順調に推移した。

新刊単行本は、柔道整復学科教員・井上護先生からのご紹介でフェルデンクライス・メソッドのプラクティショナー・藤井里佳先生の翻訳による『健康で知的なからだをつくる 51 にメソッド』、また教科書改訂にともない『柔道整復理論サブノート』の改訂第 3 版を発行した。前書は東洋医学と西洋理論とが合体する画期的なメソッドで、様々な医療分野で活用されており、今後が期待される。後者は柔道整復師国家試験対策として他校等でも定着しているものである。さらに看護学科開設記念講演録『生きているとは 看護の基本とこれからの看護』（薄井坦子著）を発刊、24 年度の看護学科学生へのテキストはもとより広報ツールとしての活用が見込まれている。

既刊本および「鍼灸 OSAKA」バックナンバーの売上については、例年並に推移している。

また平成 22 年度からスタートしたアプリ『ツボ暗記カードアプリ版』の売上はランキングでもわかるように定着した感がある。デジタル出版は、初期費用およびランニングコストは当然必要となるが、将来的に拡大する分野であり、出版部でもすでに韓国語版等を次年度発行に向けて製作をスタートしている。

校友会報の制作受注も平成 22 年度より継続し、本年度も 2 回納品した。その他の制作物としては、森ノ宮医療大学鍼灸学科教科書「東洋医学系評価学総合テキスト」改訂第 4 版（中田敬吾著）を納品した。

教科書販売・図書室販売も例年どおり行った。図書室図書の売上は昨年同様思わしくなく、例年より減少となった。

総体として、平成 23 年度売上は、予算の 91.2%であり、昨年比は 89.3%と、1 割ほどマイナスとなった。この要因の多くは、予算比・昨年比ともに大きく下回った図書館図書販売、そして新刊単行本の出版が遅れ、あるいは次年度へ延期となったことと関連していると思われる。次年度以降は出版企画の精度アップならびに看板である「鍼灸 OSAKA」の定期購読者復活を図る必要がある。

## 2. 制作・出版物報告

### 1) 「鍼灸 OSAKA」の発行 (102～104号 各1800部 発行)

No	発行日	特集
第102号	2011/8/10 発行	加齢性眼科疾患
第103号	2011/11/11 発行	腹診再考
第104号	2011/3/11 発行	鍼灸の法制度を考える

\*22年度冬号と23年度春号を100号記念合併号として23年3月に発行したため、23年度は3号発行。

### 2) 新刊本およびスマートフォン用アプリケーションの発行

\*「健康で知的なからだをつくる51のレッスン」 F.ワイルドマン著/藤井里佳訳

発行部数：2000部

発行日：平成24年3月13日

価格：2625円(税込み)

\*「生きているとは 看護の基本とこれからの看護」 薄井坦子著

発行部数：2,000部

発行日：平成24年2月10日

価格：525円(税込み)

\*「柔道整復理論 サブノート」改訂第3版 吉川徹監修

発行部数：2000部

発行日：平成23年9月30日

価格：3465円(税込み)

\*「東洋医学系評価学総合テキスト」改訂第4版 中田敬吾著

発行部数：280部

発行日：24年2月20日

\*「ツボ暗記カードアプリ アンドロイド版」松岡憲二,尾崎朋文監修 ダウンロード販売

発行日：平成23年7月登録

価格：3,800円(税込み)

### 3) 編集・制作

\*「校友会報」(年2回 No.8 No.9)

### 4) 次年度継続制作中の出版物タイトル

\*『はり灸史跡めぐり』校了済み。24年5月発行

\*『中国針灸学術史大綱』(黄龍祥著 日本語訳)第1部翻訳完了・校正中

### 3. 出版部事業の計画進捗状況

	23年度計画制作物・事業	実績・進捗状況	
季刊誌	鍼灸 OSAKA102	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA103	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA104	発刊	了
デジタル出版	ツボ暗記カードアプリ アプリ アンドロイド版	アップ済み	了
単行本	健康で知的なからだをつくる51 のレッスン	発刊	了
単行本	生きているとは	発刊	了
書籍販売	教科書販売	予定通り完了	了
書籍販売	図書室図書販売	予定通り完了	了
制作受託	校友会報 Vol.8、9	制作完了	了
単行本	鍼灸 Q&A 携帯ストラップ付	25年度に出版延期	継
単行本	はり灸史跡めぐり	25年5月発刊待ち	継
単行本	中国針灸学術史大綱第1部（翻 訳）	25年度に出版延期	継
単行本	医師のための鍼灸ガイド	25年度以降出版	継
	23年度計画外制作物	実績・進捗状況	
単行本	柔道整復理論サブノート改訂第 3版	出版	了
単行本	東洋医学評価学総合テキスト 改訂第4版	発行	了

#### ● 23年度単行本の売上ランキング

刊	タイトル	売上数
新既	ツボ暗記カードアプリ	546
新刊	ツボ暗記カード	687
新刊	ポケット鍼灸臨床ガイド	652
既刊	柔道整復理論サブノート	488
新刊	臓腑経絡学	285
既刊	このツボが効く-先人に学ぶ75名穴	358
既刊	胃の気の脈診	123
既刊	東洋医学系総合テキスト	136
既刊	健康で知的なからだをつくる51のレッスン	197
新刊	漢文で読む『靈枢』	128
既刊	はりきゅうミュージアム Vol. II	58
既刊	東洋の身体知	89
既刊	もっと身近にアロマセラピー	100
既刊	十二経絡図譜 (CD-ROM)	7
既刊	生きているとは	179



● 取扱書店一覧

WEB 書店	Amazon Fujisan (鍼灸 OSAKA のみ) 紀伊国屋 BookWEB 7 & I メテオメディカルブックセンター YAHOO! ブックス など		
北海道	丸善・札幌南一条店	岐阜県	喜久屋書店・大垣店
宮城県	コーチャンフォー・ミュンヘン大橋店 アイエ医書センター 丸善・仙台アエル店 ジュンク堂書店・仙台店	三重県	ワニコ書店
福島県	八重洲ブックセンター・郡山店	京都府	紀伊國屋書店・京都御池店 ジュンク堂書店・京都店 ジュンク堂書店・京都 BAL 店 アバンティブックセンター
栃木県	大学書房メビウス	大阪府	旭屋書店・本店 紀伊國屋書店・梅田本店 紀伊國屋書店・本町店 ジュンク堂書店・大阪本店 ジュンク堂書店・難波店
群馬県	喜久屋書店・太田店		関西医書
千葉県	三省堂書店・そごう千葉店 丸善・津田沼店 宮脇書店・印西牧の原店		丸善・なんば OCAT 店 神陵文庫・大阪支店 田村書店・千里中央店
東京都	三省堂書店・神保町本店 三省堂書店・東京女子医大店 東方書店 亜東書店 いざわ書林 燎原書店 新樹社書林 丸善・本店 八重洲ブックセンター・本店 有隣堂・渋谷医学書センター 旭屋書店・池袋店 ブックファースト渋谷店 紀伊國屋書店・本店 紀伊國屋書店・新宿南口店 医道の日本社新宿店 ジュンク堂書店・池袋店 たにぐち書店 オリオン書房・ノルテ店	兵庫県	神陵文庫・本社 ジュンク堂書店・三宮店 ジュンク堂書店・三宮駅前店 ジュンク堂書店・姫路駅前店
		島根県	島根井上書店
		岡山県	泰山堂書店 泰山堂書店・鹿田店 丸善・シンフォニービル店 喜久屋書店・倉敷店
		広島県	井上書店 井上広文館 フタバ図書・TERA 医書
神奈川県	有隣堂・医学書センター 有隣堂・川崎 BE 店 あおい書店横浜店 ACADEMIA・港北店 ACADEMIA・ちはら台店	徳島県	久米書店
長野県	明倫堂書店	香川県	久米書店・医大前店 宮脇書店・本店 宮脇書店カルチャースペース 宮脇書店・南本店
新潟県	考古堂書店	愛媛県	丸三書店
富山県	文苑堂書店・福田本店	福岡県	丸善・福岡ビル店 紀伊國屋書店・福岡本店 紀伊國屋書店・福岡天神店 ジュンク堂書店・福岡店 喜久屋書店・小倉店
石川県	前田書店		紀伊國屋書店・長崎店
静岡県	丸善・新静岡店 ガリバー	長崎県	ジュンク堂書店・大分店
愛知県	大竹書店 丸善・名古屋栄店 三省堂書店・高島屋店	大分県	ジュンク堂書店・鹿児島店
		鹿児島県	考文堂
		沖縄県	栄光図書
		韓国釜山	

(井上悦子・廣長愉美)